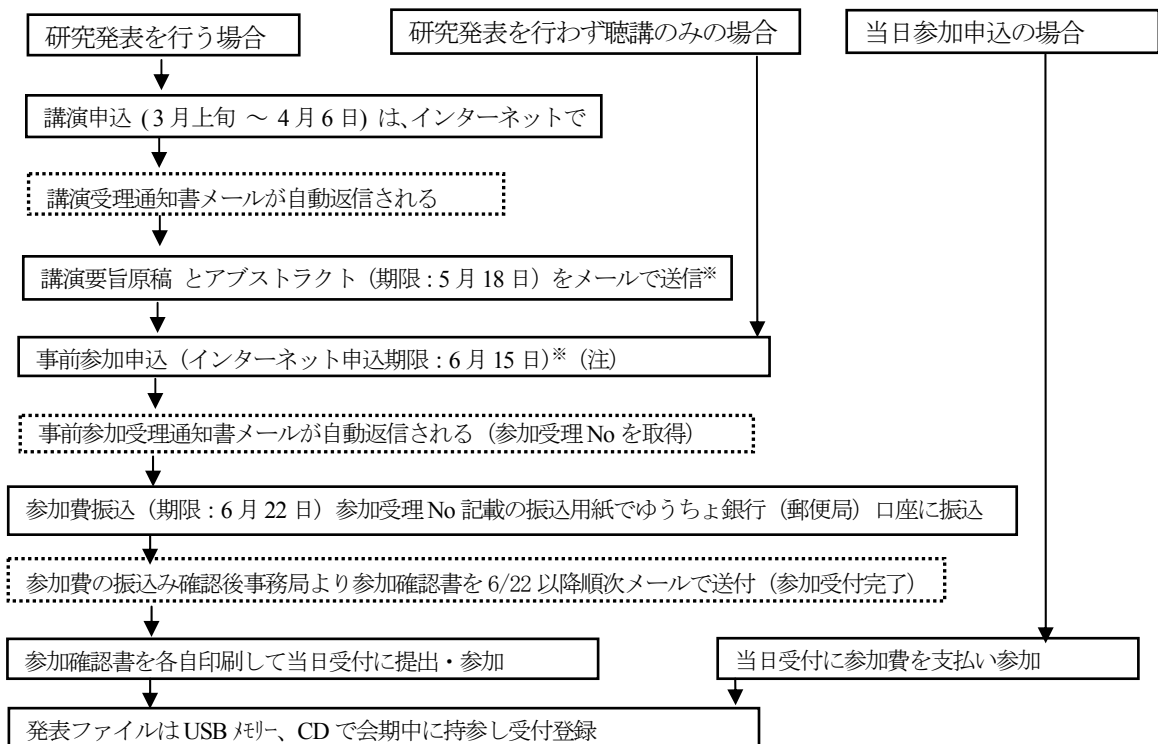


第 21 回環境化学討論会のお知らせ

- ☆主 催 一般社団法人日本環境化学会
- ☆共 催 愛媛大学・愛媛県・松山市
- ☆会 期 2012年7月11日(水)～7月13日(金)
- ☆会 場 愛媛県県民文化会館(ひめぎんホール) <http://www.ecf.or.jp>
〒790-0843 愛媛県松山市道後町二丁目5番1号 Tel: 089-923-5111
アクセス情報 http://www.ecf.or.jp/m_facilities/index.html#access
- ☆連絡先 第21回環境化学討論会事務局
〒790-8577 愛媛県松山市文京町2番5号
愛媛大学沿岸環境科学研究センター 田辺研究室内
TEL: 089-927-8173、 E-mail: touon21@agr.ehime-u.ac.jp
- ☆内 容 大気、水質、土壌、生物、廃棄物、食品、生活用品などの分野で、動態、分析、反応、物性、毒性、衛生、処理、情報、観測などの観点から、化学物質による汚染や環境計測・保全・改善等に関する研究発表を対象とします。
- ☆発表時間 口頭発表は1演題あたり15分(発表時間12分、質疑・応答・交代3分)
ポスター発表は1時間(コアタイム)
- ☆申込方法 講演及び参加申込は、インターネットでお願いします。
学会ホームページ (http://www.j-ec.or.jp/top_page.shtml) の「第21回環境化学討論会申込」内に記載している申込方法に従って手続きしてください。
講演申込者も参加申込、参加費が必要です。郵送・FAXによる申込は受理しませんのでご注意ください。討論会事務局からの連絡・返信は、メールで行います。

【第21回環境化学討論会の講演申込・参加申込方法の手順】



- ☆申込期限
- 1) 講演申込 2012年3月上旬～2012年4月6日(金)
 - 2) 講演要旨原稿とアブストラクト 5月上旬～5月18日(金)
 - 3) 事前参加申込 6月15日(金); インターネット申込のみ
 - 4) 事前参加費振込 6月22日(金)
 - 5) 当日参加申込 当日会場で受け付けます。
 - 6) 発表用メディア 当日会場で受け付けます。

※(注) 期限後の申込・振込手続き等は受け付けません。

※(注) 講演・参加のインターネット申込、及び講演要旨原稿の電子メール送信が困難な場合は討論会事務局までご相談ください。

☆参加費 下表を参照して、参加費の合計金額をお振込ください。(すべて消費税込)

参加費	一般参加者		学生参加者
	会員	非会員	
討論会 [含要旨集]	8,000円 (10,000円)	12,000円 (14,000円)	3,000円 (4,000円)
懇親会	8,000円 (9,000円)	8,000円 (9,000円)	5,000円 (6,000円)
合計	16,000円 (19,000円)	20,000円 (23,000円)	8,000円 (10,000円)

(注) ()内は当日受付の金額。懇親会に参加するには、討論会参加費を支払う必要があります。(懇親会のみ参加は受け付けません)

◎事前支払いの方法

6月22日(金)までに3月号に挟み込みのゆうちょ銀行(郵便局)振込用紙(払込取扱票)あるいはゆうちょ銀行備え付けの振込用紙に、下記の記入例に従って、指定ゆうちょ銀行口座[第21回環境化学討論会、口座番号:01680-6-53113]にお振込みください(振込手数料は各自ご負担ください)。振込期限後の参加費の振込は、事前参加登録済みでも、当日受付扱いになりますのでご注意ください。

【参加費振込時における払込取扱票(郵便局振込用紙)の記入例】

00		払込取扱票										振替払込請求書兼受領証				
口座記号		口座番号										金額				
016806		53113										千 百 十 万 千 百 十 円 36000				
加入者名		第21回環境化学討論会										料金		備考		
通信欄 おとこ ご依頼人 おなまえ	参加者名・参加受付No.		該当に○印を して下さい		会員No.		参加費		懇親会		合計金額		金額		備考	
	環境 太郎		個/賛/公/学 会員/非会員		012345		8,000		8,000		16,000		千 百 十 万 千 百 十 円 ¥36000			
	環化 花子		個/賛/公/学 会員/非会員				3,000		5,000		8,000					
	愛媛 次郎		個/賛/公/学 会員/非会員				12,000				12,000					
〒790-0000		愛媛県松山市文京町0丁目00-00										総合計 ¥		36,000		
ご依頼人		環境 太郎 様										日 附 印		日 附 印		
(ご連絡先電話番号 089 - 000 - 000)												料金		円		
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) これより下部には何も記入しないでください。												備考				

この受領証は、大切に保管してください。

◎参加確認書に関して

参加費の振込を確認後、メール等で参加確認書を6月22日以降順次送付しますので、事前参加申込の受付完了を必ずご確認ください。

以上、討論会事務局の事前準備を円滑にすすめるため、事前参加申込に関する皆様の御協力をお願いいたします。

☆第21回環境化学討論会実行委員会（敬称略・五十音順）

大会会長： 立川 涼

大会副会長： 上甲 俊史、森田 昌敏

実行委員長： 田辺 信介

実行副委員長： 岩田 久人、河野 公栄、高菅 卓三、本田 克久

実行委員： 阿草 哲郎、Annamalai Subramanian、磯部 友彦、板井 啓明、今枝 大輔、上田 祐子、上田 浩三、上野 大介、江口 哲史、榎本 剛司、大塚 将成、大橋 眞、奥田 昌弘、落合 真理、金丸 新、川嶋 文人、河原 進、神田 広興、菊池 貴也、Kwadwo Ansong Asante、Nguyen Minh Tue、国見 祐治、倉田 智美、先山 孝則、鈴木 剛、染矢 雅之、高木 陽子、高橋 眞、滝上 英孝、田上 瑠美、田部井 昭子、徳山 崇彦、永井 則安、中田 晴彦、中野 武、野見山 桂、馬場 啓之、濱田 典明、濱元 弘実、原田 修一、平川 周作、福島 実、藤田 寛之、藤峰 慶徳、宝来 佐和子、松田 昌子、松田 宗明、水川 葉月、村瀬 秀也、山下 正純、余吾 達哉、渡邊 功、渡邊 泉

－ 今年度の特色 －

1. 昨年度と同様に、講演要旨集は CD で配布します。要旨集の代りに A4 サイズの「プログラム集」を作成します。

「プログラム集」には、講演者情報（演題、発表者氏名、所属、講演概要）、プログラムの概要、会場案内、座長名簿、発表者索引、フリーミキサーの案内、企業広告等を記載します。プログラム集は CD 版の講演要旨集とともに学会当日に配布します。また、学会ホームページ上で事前に掲載される講演要旨集はパスワード取得者のみ閲覧可能です。参加費振込後、参加確認書とともに連絡するパスワードを入力し、必要に応じて HP 上からダウンロードし、事前印刷をお願いします。ダウンロード可能期間は、6月29日（金）0：00～7月13日（金）24：00の間です。なお、事前参加申込み終了以後、当日参加料金で払い込んだ方にも同様にパスワードをお送りします。学会終了後、パスワードは無効になりますので、御注意ください。

2. ナイトミーティング（ナイトミキサー）を「フリーミキサー」に変更します。

少人数での情報交換や交流を目的に開催していたナイトミーティング（ナイトミキサー）の名称を「フリーミキサー」とし、会場の設定や飲食物の提供方法等を変更します。フリーミキサーではポスター発表会場のセッションごとにテーブルと椅子を設置し、ポスター発表終了後そのまま会場を利用して、ディスカッションや交流を深めることができるよう対応します（必要に応じて小会議室の利用も可能です）。また、ポスター発表会場にはドリンクや軽食の販売コーナーを設置します。従って、従来のように事前に参加費をお振り込みいただく必要はありません。会場のポスターを見学しながら愛媛のお酒やつまみを楽しみつつ、自由に討議・交流できる時間を提供したいと考えています。

3. 「国際セッション」を開催します。

国外の研究者を招へいし、従前のプログラムとは別枠で英語による口頭発表を行います。

4. ポスター発表は2日間掲示可能です。

ポスター発表者のコアタイムは11日（水）の15:30-16:45（奇数番）、16:45-18:00（偶数番）を予定しています。ポスターは11日（水）と12日（木）の2日連続で掲示・閲覧することができます。

12日（木）は16：00まで掲示します。

5. 学生賞を企画し表彰します。

口頭発表（国際セッション含む）を予定している博士前期課程（修士）および後期課程（博士）の学生（但し、社会人大学院生を除く）で高い評価を得た者は、大会実行委員長から「学生賞」を贈呈します。

※詳細は、企画行事の概要をご覧ください。

<企画行事の概要>

諸事情によりプログラムの時間は変更になる場合があります。

☆ 特別講演 「環境化学の過去・現在・未来」

講師： 立川 涼（たつかわ りょう）先生

（愛媛大学名誉教授、元高知大学長、前愛媛県環境創造センター所長）

日時： 2012年7月11日（水） 9：15 ～ 10：00

会場： A会場（大ホール）

私は、1966年から1995年まで、愛媛大学農学部で“環境化学”の仕事をした。当時、“公害”と称された環境学は新しい学問で、学生時代から環境学を学んできた者などはいない。それぞれ多様な分野での経験を背負って環境の世界に飛び込んで来た。大学、研究室を超えて社会との接点も多かった。人と時代に恵まれ、今になれば好運な時代に研究者生活を送れたことを感謝している。いくつかのエピソードを拾いながら30年をふりかえってみたい。

☆ 特別講演 「放射性物質汚染廃棄物の適正管理」

講師： 大迫 政浩（おおさこ まさひろ）先生

（（独）国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長）

日時： 2012年7月12日（木） 8：30 ～ 9：15

会場： A会場（大ホール）

放射性物質による東日本の広域的な汚染によるリスクの低減策において、廃棄物処理は最終的な出口として重要な役割を担っています。しかし、国民の不安感は払拭できていません。ここでは、本問題に対する国の動きなどについて最新の情報を提供するとともに、関連する科学的知見などを紹介し、放射性物質汚染廃棄物の適正管理の在り方について一緒に議論したいと考えています。

☆ 特別講演 「甲状腺ホルモンを測る—分析法の新展開—」

講師： 国末 達也（くにすえ たつや）先生

（鳥取大学 農学部 教授）

日時： 2012年7月13日（金） 9：00 ～ 9：45

会場： A会場（大ホール）

甲状腺ホルモンは成長や脳の発達に不可欠であり、一般にその恒常性は、免疫測定法により血中濃度を測定することで評価されている。免疫測定法は高感度の検出を可能とするが、用いた抗体の特異性から検体によって異常値を示すことも指摘されている。また脱ヨード化酵素の発現により、組織中の甲状腺ホルモンは必ずしも血中のパターンを反映しているとは限らず、高精度の測定法が求められていた。ここでは、機器分析法を用いた甲状腺ホルモンの新規測定法を紹介するとともに、環境化学・毒性学的視点でその有用性を検証した研究成果を報告する。

☆ ポスターセッション (2日間終日掲示)

日時：7月11日(水) ポスター準備 8:00～

コアタイム：奇数番号(学生賞審査含む) 15:30～16:45

偶数番号(学生賞審査含む) 16:45～18:00

7月12日(木) 掲示のみ ～16:00

※12日の発表終了後、17:00までに必ず発表者の責任で撤収してください。

会場：真珠の間

☆ フリーミキサー

日時：7月11日(水) 18:00～20:00

会場：真珠の間

参加費：無料

※飲食物(有料)は、会場内の販売コーナーで提供します(詳細は下記②を参照)。

第21回環境化学討論会では各専門分野のホットトピックに関する議論や情報交換、会員間の交流を活性化するため、1日目のポスターセッション終了後、フリーミキサーを開催します。フリーミキサーは、従来のナイトミーティング・ナイトミキサーから会場運営や飲食物の提供方法が大きく変わります。以下、主な変更点について説明します。

① 会場

ポスターセッションの会場(真珠の間)をそのままフリーミキサーの会場として使用します。つまり、ポスターセッション終了後、会場はそのままフリーミキサーの時間となります。会場はポスターセッションのテーマごとに下記の会場概要図のようにポスターパネルで仕切られています。フリーミキサーでは、テーマごとに会場に設置された机と椅子を利用して、自由にグループ討議を行っていただく予定です。討議を円滑に進めるために、セッションごとにコーディネーター(話題提供・進行役)を2～3名ほど配置する予定です。机や椅子は自由にレイアウトを変えて利用できるよう設置します(例えばテーマ内でさらに小グループに分かれて討議することも可能です)。とくに今回のフリーミキサーでは、関連ポスターを展示している場所で討議が行えますので、関心度の高いポスターに着目して議論を深めることができます。

会場(真珠の間)はパネルで仕切られていますので、参加者は自由にテーマやグループ間を移動することが可能です。また、参加メンバー限定・非公開の討議を行いたい場合は、第2会議室および第3会議室(ともに収容人数48名)が利用可能です。事前に会議室利用の希望がある場合は、事務局にご相談ください(当日でも会議室が空いている場合は、適宜対応可能です)。

② 飲食物の販売

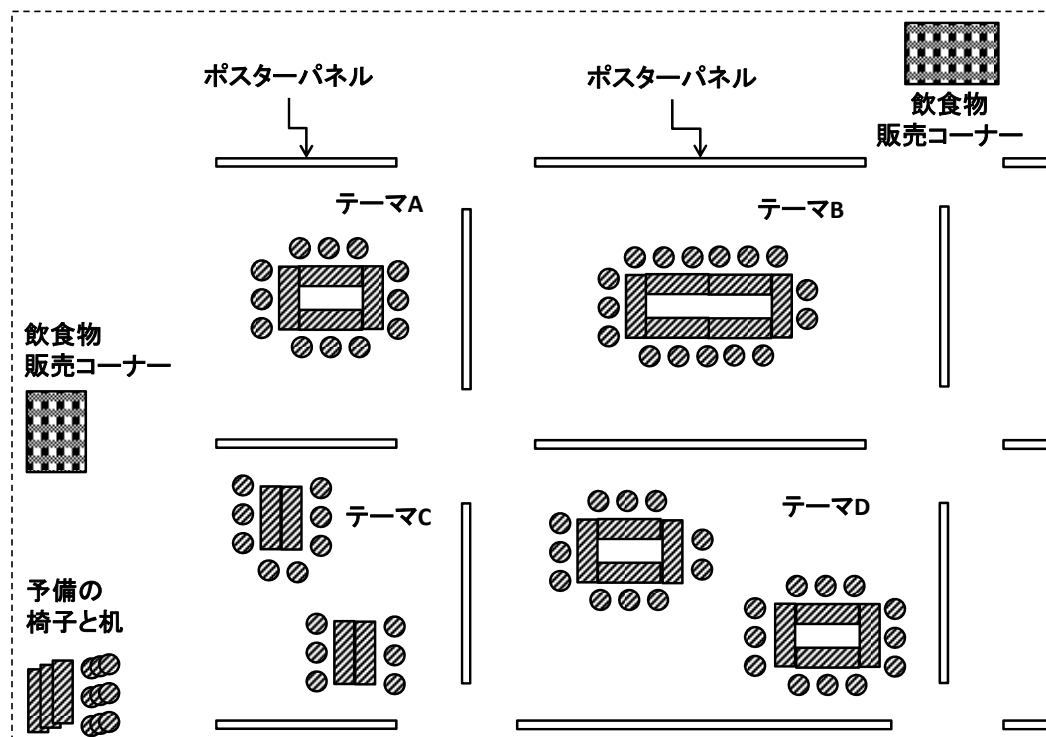
従来のナイトミーティング等では、参加者各自の希望にあわせて飲食物の内容や量を提供するのは困難でした。そこで今回のフリーミキサーでは、飲食費を事前徴収せず、参加者各自が会場で直接購入する方式に変更します。飲食物の販売は、会場に設けた販売コーナーで行います。また、混雑を避けるため販売はチケット(食券)前売方式とします。ポスターセッション中に販売コーナーでチケットの販売を開始し、フリー

ミキサー開始前に各販売コーナーでチケットと飲食物の交換を開始します。フリーミキサー中に残数がある飲食物は、チケット販売を続けます（ドリンク類中心）。提供メニューは愛媛の地酒・地ビールを含むアルコール類、ソフトドリンク、サンドイッチや巻き寿司等の軽食、じゃこ天（天ぷら）やせんざんき（唐揚げ）等愛媛の名産を準備する予定です。

③ フリーミキサーのテーマ

今回のフリーミキサーのテーマはポスターセッションと共通で下記の通りとなります。コーディネーターは未定ですが、各テーマに関する専門の方に依頼する予定です。

1. 震災関連および放射性・毒性・微量元素
2. 相互検定・標準物質とダイオキシン・POPs 分析技術
3. ダイオキシン類・PAHs の環境・生体レベル
4. ハロゲン系難燃剤と PPCPs・環境ホルモン
5. VOCs 分析技術と環境レベル
6. PCBs・POPs の環境レベルと顔料中不純物
7. LC-MS・その他機器分析技術と新規環境汚染物質
8. 環境・生体・廃棄物中の有機フッ素化合物と曝露評価
9. 有害物質処理・環境浄化・資源循環
10. 生態毒性・バイオアッセイと環境影響評価



会場概要図

☆ 国際セッション (English セッション)

会場：B 会場 (サブホール)

「国際セッション」を開催します。

海外から研究者を招へいし、従前のプログラムとは別枠で英語による口頭発表を行います。国内の学生や英語での発表を希望する日本人修士・博士課程学生、ポストドクター、研究員も応募可能です。申し込み、参加費の支払いは一般発表と同様です。発表方式は、口頭発表マニュアルをご参照ください。(一般講演とは、発表言語、発表時間が異なりますのでご注意ください)

☆ 観光案内ブース

特別なエクスカージョンは企画しませんが、市内観光等に関する案内ブースを設置します。

観光案内ブースでは、おすすめ観光プランをボランティアガイドが紹介します。

7月11日(水) 9:00~13:00 14:00~17:00 (予定)

7月12日(木) 9:00~13:15 14:15~17:00 (予定)

☆ 物産展

社団法人愛媛県観光物産協会による、愛媛県の物産品を販売します。

☆ 企業展示

会場：県民プラザ (1F ホール)

企業(大学や研究機関を含む)のPR活動の場として、製品、技術、カタログおよび資料などを展示します。

☆ ランcheonセミナー

主催企業が参加者に役立つ情報提供や、新製品等を紹介するもので、研究や仕事の深化・多様化に有益な最新情報を得る絶好の機会です。参加者には弁当と飲み物を用意しております。ふるってご参加ください。

日時：7月11日(水) 11:45~13:00

会場：B会場(サブホール)、C会場(第6会議室)、D会場(第8会議室)を予定

実施企業：大塚製薬株式会社、株式会社島津製作所、サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

日時：7月12日(木) 12:00~13:15

会場：B会場(サブホール)、C会場(第6会議室)、D会場(第8会議室)を予定

実施企業：株式会社ウェリントンラボラトリーズジャパン、株式会社エービー・サイエックス、
ジーエルサイエンス株式会社

(注) 会場等の最新情報は、学会ホームページに随時掲載します。

☆ 懇親会

日時：2012年7月12日（木） 19：00～21：00

会場：松山全日空ホテル ダイアモンドボールルーム

（〒790-8520 愛媛県松山市一番町3丁目2-1 TEL：089-933-5511 [代表]）

アクセス：<http://www.anahotelmatsuyama.com/access/>

会費：一般8,000円（当日9,000円）学生5,000円（当日6,000円）

☆ 託児施設

お子様同伴の参加者のために、託児所を紹介します。※送迎は各自お願いします

場所：愛媛大学城北キャンパス内保育所「えみかキッズ」

期間：2012年7月11日（水）～13日（金）

受け入れ可能時間：7：30～18：00（18：00～21：30要相談）

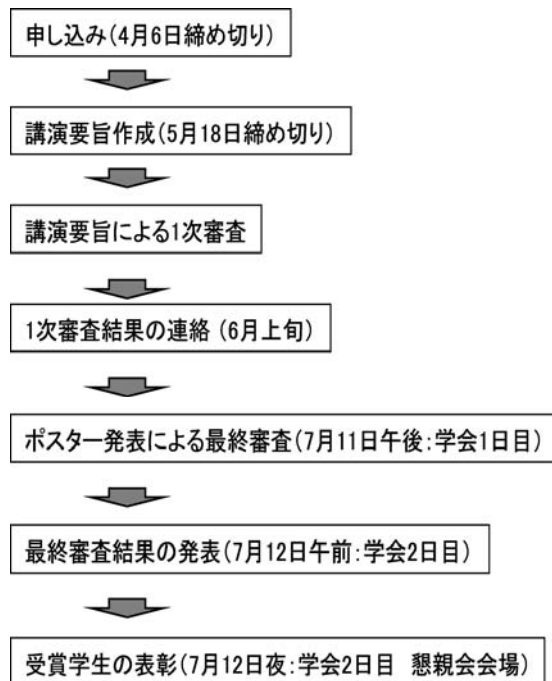
乳幼児受け入れは、「国立大学法人愛媛大学城北保育所規程」/愛媛大学規則集/第06編 大学運営/第08章 福利厚生施設等/06◎国立大学法人愛媛大学城北保育所規程に従って行います。

※事前参加申込の際にお申し込みください。（申し込みされた方には、後日個別に対応します）

学生賞について

口頭発表を予定している博士前期課程（修士）および後期課程（博士）の学生（社会人大学院生は除く）を対象に、学生賞を授与します。高い評価を得た発表者は、学会2日日夜の懇親会に無料招待し、大会実行委員長から賞状が贈られます。講演申し込み時に、学生賞に応募した方が審査の対象です。なお、ポスター発表者は審査の対象になりません。

1. 学生賞選考の流れ



2. 表彰

懇親会への招待および賞状の授与（懇親会費支払い済みの学生には返金します）。

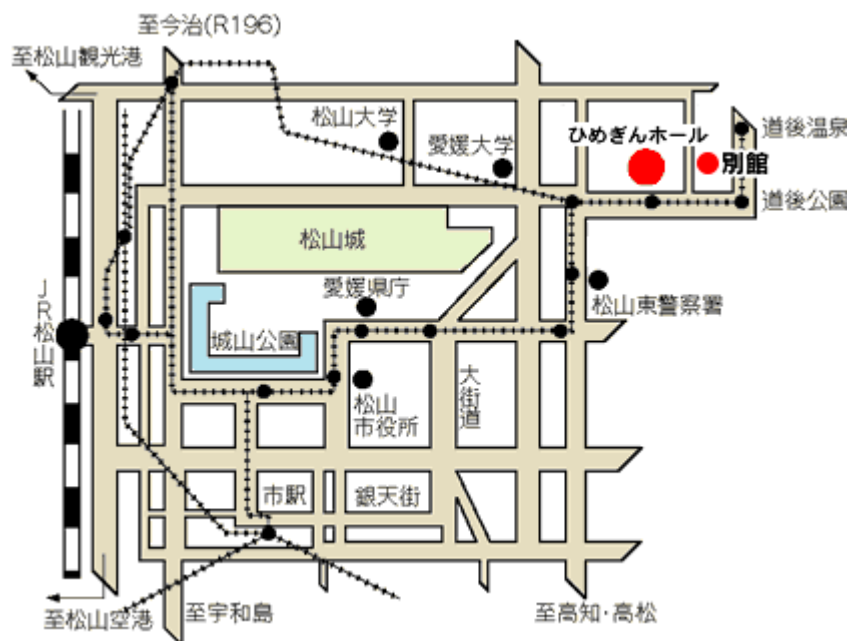
3. 選考方法

1次審査は環境化学分野を専門に活動している著名な学会員に、最終審査は座長に選考委員を依頼する予定です。

学生賞の選考基準は以下のとおりです。

- 研究背景・目的・実験方法を適切に記述しているか。
- 十分な結果を得ているか。
- 考察および結論は適切か。
- 図表を含めポスターとしての全体的な完成度は高いか。

<交通アクセスと会場案内>



□松山駅からお越しの方

- ・伊予鉄市内電車(道後温泉行)で約 15 分、南町・県民文化会館前で下車
- ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約 20 分、南町・県民文化会館前で下車
- ・タクシーで約 10 分

□松山市駅から

- ・伊予鉄市内電車(道後温泉行)で約 10 分、南町・県民文化会館前で下車
- ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約 15 分、南町・県民文化会館前で下車
- ・タクシーで約 10 分

□松山空港から

- ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約 40 分、南町・県民文化会館前で下車
- ・リムジンバスで約 30 分、南町・県民文化会館前で下車
- ・タクシーで約 25 分

□松山観光港から

- ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約 45 分、南町・県民文化会館前で下車
- ・リムジンバスで約 35 分、南町・県民文化会館前で下車
- ・タクシーで約 30 分

□道後温泉から

- ・伊予鉄市内電車(松山市駅前・本町6丁目・JR松山市駅前行)で約 3 分、南町・県民文化会館前で下車
- ・伊予鉄バス・リムジンバス(松山空港・松山観光港行)で約 2 分、南町・県民文化会館前で下車
- ・タクシーで約 3～5 分

※駐車場 303 台(地下 91 台、北 84 台、西 120 台)
30 分ごとに 100 円(大型 200 円)

★松山市内の移動は、伊予鉄市内電車が便利です。

道後温泉行き→「南町県民文化会館前」下車

料金は区間に関係なく一律1回乗車につき150円です。

【市内電車・バス1Dayチケット 400円がお得です(<http://www.iyotetsu.co.jp/ticket/more/002.html>)】

<宿泊施設について>

松山市内には、多数の宿泊施設があります。参考までに松山市内周辺、道後温泉周辺の主な宿泊施設を以下に記載します（順不同）。会場（ひめぎんホール）までの交通の便を考えると、市内電車沿線/周辺の宿泊施設が便利です。

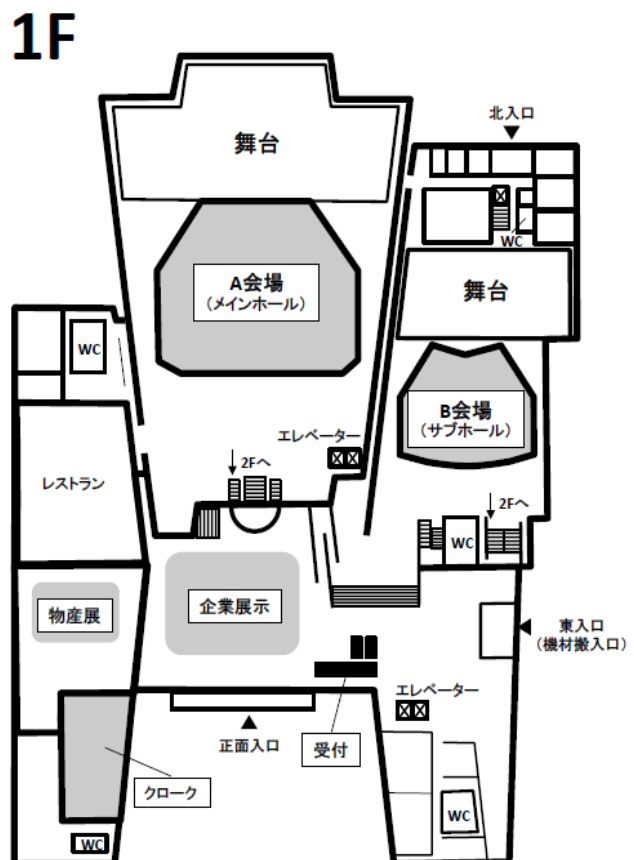
【松山市内周辺】

松山全日空ホテル(本館)、松山全日空ホテル(別館)、スカイホテル、松山東映ホテル、松山シティホテル、ホテルJALシティ松山、ビジネスホテル勝山、松山東急イン、ホテル泰平、ホテル泰平別館、東京第一ホテル松山、ターミナルホテル松山、国際ホテル、松山東横イン松山一番町、松山ワシントンホテル、プラザホテル、ニューカジワラ、プレミアイン松山、ミレニアホテル松山、アビス松山、ホテルサンルート松山、アビス道後松山

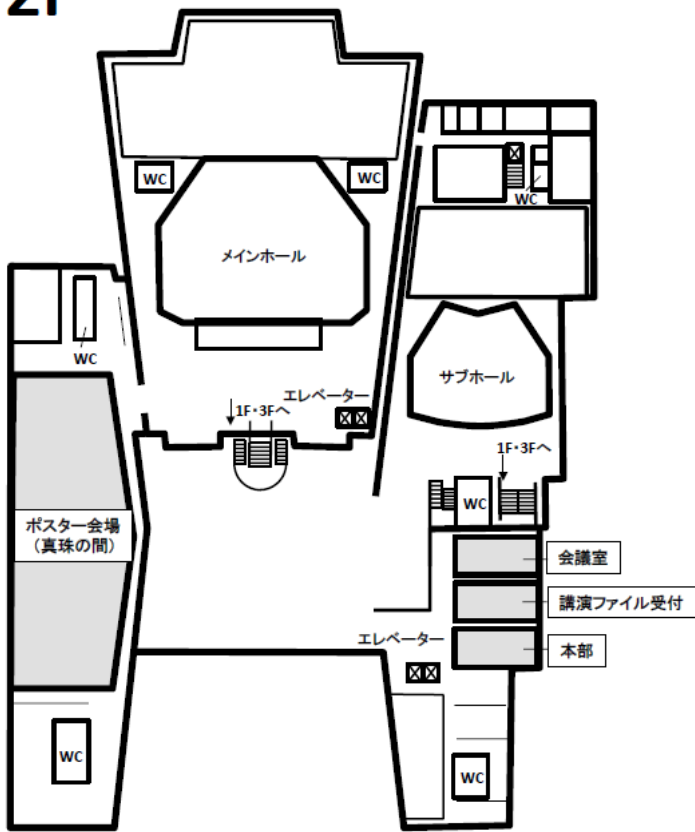
【道後温泉周辺】

大和屋本店ふなや、道後山の手ホテル、道後館、ホテルパティオ・ドウゴ、宝荘ホテル

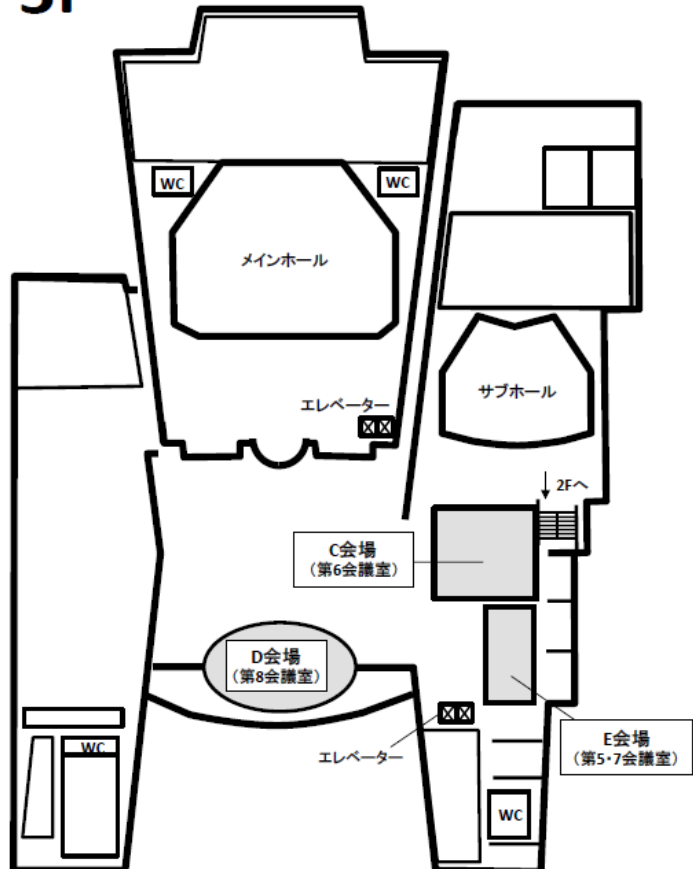
<会場(ひめぎんホール)見取り図>



2F



3F



<講演要旨ダウンロードについて>

講演要旨集はパスワード取得者のみ閲覧可能に設定した学会ホームページ上で事前に掲載致します。参加費振込後、参加確認書とともに連絡するパスワードを入力し、必要に応じて HP 上からダウンロードし、事前印刷をお願い致します。ダウンロード可能期間は、6月29日(金)0:00~7月13日(金)24:00の間だけです。学会終了後、パスワードは無効になりますので御注意下さい。

会場にプリンタサービスはありませんので、要旨の印刷は事前に各自にてお願いします。

なお、事前参加申込み終了以後、当日参加料金で払い込みをされた方にも同様にパスワードをお送りします。

(注) 特許出願される方は、講演要旨がホームページに公開後、起算して6ヶ月以内に手続きしてください。

<発表方式>

口頭またはポスター発表とします。口頭発表は、原則として液晶プロジェクターによる発表とします。

☆口頭発表マニュアル（一般講演、国際セッション）

(A) 発表時間： 一般講演 12分、質疑応答+発表者の交代 3分を含め 計 15分です。国際セッションは、発表 15分、質疑応答+発表者の交代 5分 計 20分です。発表言語は、一般講演は日本語、国際セッションは英語を原則とします。発表時間を超過した場合には、途中で打ち切ることがありますので、ご注意ください。

(B) 発表手順：

1) ファイルの作成方法：

- (a) ファイル形式等：発表用に講演ファイルは Microsoft Windows®版の Microsoft PowerPoint® 2003 以降の形式 で作成してください。学会当日の発表用パソコンは Microsoft Windows® 7 を使用し、ソフトは PowerPoint® 2010 を準備します。ファイルの容量は 10 MB 以下 としてください。送付前に必ず発表スライドの動作確認を行ってください。動画の動作については保証しかねますのでご了承願います。
- (b) ファイル名：「セッション番号_演者の氏名.ppt もしくは pptx」としてください。(例：「1A-1_環化花子.ppt」)
- (c) メディア：CD-R または USB メモリー（特殊なドライバーを必要としない物）を使用してください。
- (d) ウイルス対策：講演ファイルとメディア両方の、ウイルスチェックをお願いいたします。

2) 講演ファイルの受付：

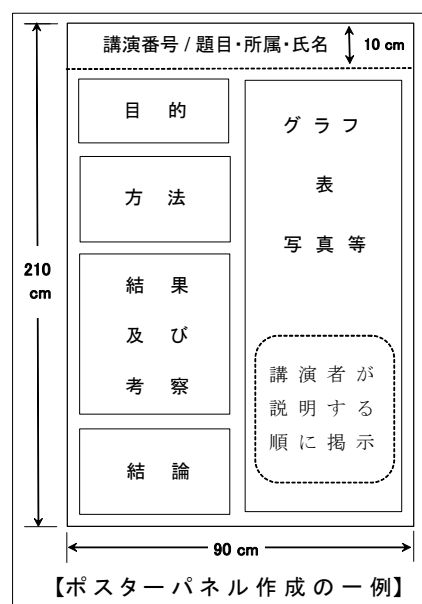
- (a) 発表者は、講演ファイルを CD-R または USB メモリーで、発表会場 2F の「講演ファイル受付」までご持参ください。
- (b) 講演ファイルの受付は、各発表セッション（例えば 1A、1C など）開始 30 分前までにお願いします。担当者がファイル名等を確認し、ファイルの読み込みを行います。初日（7月11日）の午前中は講演ファイル受付が混雑しますので、初日午前の発表者は早めの受付をお願いします。なお、開催期間中は休憩時、講演ファイルを受け付けます。

3) 発表方法：

- (a) 各講演会場の演台に講演ファイルを読み込んだノートパソコン（OS は Microsoft Windows® 7、使用ソフトは PowerPoint® 2010）と液晶プロジェクターを設置しますので、講演者自らがノートパソコンを操作し、講演してください。緊急な場合を除き、個人のパソコン持ち込みは、プログラム進行の支障になるため、お受けできません。
- (b) 講演ファイルは、大会終了後に、実行委員会が責任を持って消去します。

☆ポスター発表マニュアル

- (A) ポスターパネルの作成法：講演 1 題当たりのポスターパネルの貼付スペースは、（縦 210 cm × 横 90 cm 以内）（右図参照）とします。ただし、パネルの最上部 縦 10 cm の部分には必ず、講演番号、題目、所属、氏名を印刷あるいは記入した用紙を貼ってください。パネルへのポスターの貼付は会場に用意してあるテープを使用し、撤収時に返却してください。
- (B) 当日の受付：発表者は、持参したポスターを貼り付ける前に、ポスター会場に設置する「ポスター受付」で受付を済ませ、担当者の指示に従ってください。
- (C) 発表手順：コアタイム（1 時間）には、ご自身のポスターの前に立ち、閲覧者からの質疑に対応するよう努めてください。



1) 会場：真珠の間

2) 貼付：7月11日（水）8時～12日（木）16時まで（2日間）

3) 日時：7月11日（水）

コアタイム：奇数番号（学生賞審査含む） 15：30～16：45

偶数番号（学生賞審査含む） 16：45～18：00

7月12日（木）掲示のみ（ ～16：00）

4) 撤収：7月12日の発表終了後、17:00 までに必ず発表者の責任で撤収してください。

＜討論会における研究発表の特許手続き上の証明について＞

本会は特許法第30条第1項の規定による「特許庁長官が指定する学術団体」に指定されておりますので、本討論会において文書をもって発表し、

(1) Web上で公開した日より6ヶ月以内に(討論会講演要旨集をWeb上で公開した日より起算)、その発明者が実用新案または特許について『「特許法第30条第1項の適用」を受けようとする旨を記載した書面』を特許出願と同時に特許庁長官に提出し、

(2) さらに、その発明、考案が『本学会開催の討論会で発表されたものであることを証明する「本学会発行の証明書」を出願の日より30日以内に特許庁長官に提出するとき』は、その発明、考案は新規性を失わないと認められることとなっています。この際、討論会講演要旨集に記載されていることがらに関しては、刊行物と見なされるので当然保護されます。したがって、討論会講演要旨集に記載のない事柄についての発表を保護の対象としたいときのみ、別に文書を本学会に提出することになります。それには、

(イ) 発表者は、発表のもとになる「文書」(全部または必要部分)を作成してあらかじめ座長に提出し、発表後、口頭で発表したことの事実を座長に「確認」してもらいます。**(討論会講演要旨集のコピーのみを特許庁に提出される場合は座長の確認は必要ありません。)**

(ロ) 座長の確認を受けるには、次の例に示すような「確認書」を発表者が作成して、上述の「文書」と共にあらかじめ座長に提出します。

(ハ) 出願者が本学会発行の証明書の特許庁長官に提出する時には、座長の捺印した「証明書」1通、「文書」2通(正、副)の他、下記の例に示すような「証明書」(学会の控えを含む2通)を作成して、返信用封筒(宛名記入、切手貼付)を同封し、本学会宛その証明書を請求してください。本学会では、この証明書に、「文書」のうち1通(正)を添付して返送します。

確認書の例	証明書の例
<p style="text-align: right;">2012年○月○日</p> <p>一般社団法人 日本環境化学会御中</p> <p style="text-align: center;">第21回環境化学討論会 座長○○○○ 印</p> <p>第21回環境化学討論会において、添付の文書のとおり発表があったことを確認します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>講演日時：2012年7月○日 講演場所： 演題番号： 発表者及び演題：</p>	<p style="text-align: center;">証明書</p> <p style="text-align: right;">2012年○月○日</p> <p>特許庁長官 ○○殿</p> <p style="text-align: right;">一般社団法人 日本環境化学会 会長 森田昌敏 印</p> <p>本学会開催による第21回討論会において○○は添付の文書をもって発表したことを証明します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>講演日時：2012年7月○日 講演場所： 演題番号： 発表者及び演題：</p>

(注)発表者が連名の場合は「確認書」、「証明書」、「文書」とも全員の名前を記入すること。

プログラムの概要 タイムスケジュール

7月11日(水) 1日目

諸事情によりタイムスケジュールやプログラムが若干変更される場合があります。
最新版は学会ホームページに随時掲載しますのでご確認ください。

	A会場 (メインホール)	B会場 (サブホール)	C会場 (第6会議室)	D会場 (第8会議室)	E会場 (第5,7会議室)	ポスター会場 (F会場(真珠の間))	企業展示 (1Fホール)
	受付 (8:00~17:30)						
9:00~ ~9:15	オープニングセレモニー(A会場)						
9:15~ ~10:00	特別講演1 (A会場) 立川 涼 先生 愛媛大学名誉教授、元高知大学長、前愛媛県環境創造センター所長 「環境化学の過去・現在・未来」					ポスター 準備/掲示	企業展示 (終日)
10:00~ ~10:15	コーヒーブレイク						
10:15~ ~11:45	震災関連 放射性物質 (1A-01~06)	International Session 1 (1B-01~04)	PCBs 代謝物・ハ ロゲン化フェノー ル (1C-01~06)				
11:45~ ~13:00	ランチョンセミナー・昼食						
13:00~ ~15:30	震災関連 その他化学物質・ 浄化技術 (1A-07~14)	International Session 2 (1B-05~12)	有機フッ素化合物 (1)分析・環境レベ ル・分解 (1C-07~16)	POPs・農薬・PAHs 環境レベル (1D-01~10)	分析技術(1) 一斉分析・精度管 理 (1E-01~10)	ポスター掲示 (2日間終日)	
15:30~ ~16:45							ポスター セッション P-奇数番号 コアタイム
16:45~ ~18:00							
18:00~ ~20:00							

2012年7月12日(木) 2日目

※2日目は、開始時間が8時30分となりますのでご注意ください。

	A会場 (メインホール)	B会場 (サブホール)	C会場 (第6会議室)	D会場 (第8会議室)	E会場 (第5,7会議室)	ポスター会場 (F会場(真珠の間))	企業展示 (1Fホール)
	受付 (8:00~17:30)						
8:30~ ~9:15	特別講演 2 (A会場) 大迫政浩 先生 (独)国立環境研究所、資源循環・廃棄物研究センター/センター長 「放射性物質汚染廃棄物の適正管理」						
9:15~ ~9:30	コーヒーブレイク						
9:30~ ~12:00	ヒト曝露・リスク評価 (2A-01~10)	International Session 3 (2B-01~08)	有機フッ素化合物 (2)分析・環境レベル・分解 (2C-01~02) 難燃剤(1) 発生源・室内曝露 (2C-03~10)	特別テーマセッション 化成品中不純物 (2D-01~05) 重金属・微量元素 (1)堆積物・経年変動 (2D-06~10)	分析技術(2) その他化学物質 (2E-01~2E-09)	ポスター掲示 (2日間終日)	企業展示 (終日)
12:00~ ~13:15	ランチョンセミナー・昼食						
13:15~ ~15:45	処理技術 (2A-11~19)	International Session 4 (2B-09~16)	難燃剤(2) 環境・生体レベル・毒性 (2C-11~20)	重金属・微量元素 (2)毒性・リスク評価・廃棄物 (2D-11~20)	大気 分析・環境レベル・長距離移動 (2E-11~20)		
16:00~ ~17:00	受賞講演 (A会場)					ポスター撤去 (~17:00)	
17:00~ ~18:00	表彰式 (A会場)					/	/
19:00~ ~21:00	懇親会 (松山全日空ホテル)						

2012年7月13日(金) 3日目

	A会場 (メインホール)	B会場 (サブホール)	C会場 (第6会議室)	D会場 (第8会議室)	E会場 (第5,7会議室)	ポスター会場 (F会場(真珠の間))	企業展示 (1Fホール)
	受付 (8:00~12:30)						
9:00~ ~9:45	特別講演3 (A会場) 国末達也 先生 鳥取大学 農学部 教授 「甲状腺ホルモンを測る一分析法の新展開」						
9:45~ ~10:00	コーヒーブレイク						
10:00~ ~12:30	PPCPs・生活関連 物質 (3A-01~10)	植物利用浄化 (3B-01~06)	毒性・リスク評価・ バイオアッセイ (3C-01~10)	重金属・微量元素 (3)環境・生体レベ ル (3D-01~10)	リサイクル・一般 水質・その他 (3E-01~10)		
12:30~ ~13:15	ハイライトセッション (A会場) 演題数・テーマ傾向概要: 高菅卓三(島津テクニサーチ/愛媛大) 震災関連廃棄物・越境汚染: 高橋 真(愛媛大) バイオアッセイ・毒性評価: 鈴木 剛(国環研) POPs・新規 POPs: 磯部友彦(愛媛大) POPs 生体内変化・代謝活性化物: 野見山桂(愛媛大) PPCPs・PFCs・上下水道関連: 中田典秀(京大) 重金属・微量元素: 板井啓明(愛媛大)						
13:15~	クロージングセレモニー						

<ハイライトセッションの趣旨説明>

例年、「聞きたいセッションが重なって同時に聞けなかった」「自分の発表と同じ時間帯に関連研究の発表があった」「あるセッションの座長を引き受けたら別のセッションで自分の学生・共同研究者の発表があった」という意見が多数あります。ポスター発表についてはコアタイム以外の時間帯にも掲示されているため、実際にポスターを見ることで少なくともどのような発表内容か知ることができますが、一方で口頭発表は他の会場で発表されている内容を知ることが困難です。そこで今大会では、口頭発表の内容や傾向について効果的に概要を理解していただきたいと考え、ハイライトセッションを企画しました。セッション担当者は、実行委員または当該分野で活発な研究を展開している若手から選出し、口頭発表を中心に全体の概要や発表の傾向、際立った研究成果などについて紹介していただく予定です。他の研究分野の動向や研究トレンドの情報収集にお役立ていただきたいと思ひます。ただし、当セッションはあくまで担当者個人の視点でまとめたものであり発表の優劣を評価しているわけではないこと、人数・時間・専門分野などの制約からすべてのトピック・演題を網羅できないことを予めご了承ください。また、口頭発表の演者の方には、PCブースでデータ(pptファイル)をコピーする際に、スライドの一部をハイライトセッションで借用して良いかどうか、承諾を得たいと思ひますのでご協力をお願いします。当然ですが、ご承諾いただけない場合には当該スライドは使用いたしませんし、借用させていただいたスライドはハイライトセッション終了後直ちに消去し、この目的以外では使用しないことを申し添えます。学生の該当者は、事前に指導教員の了解を得ていただけると助かります。

ポスター発表の概要 (7月11~12日 2日間 終日掲示)

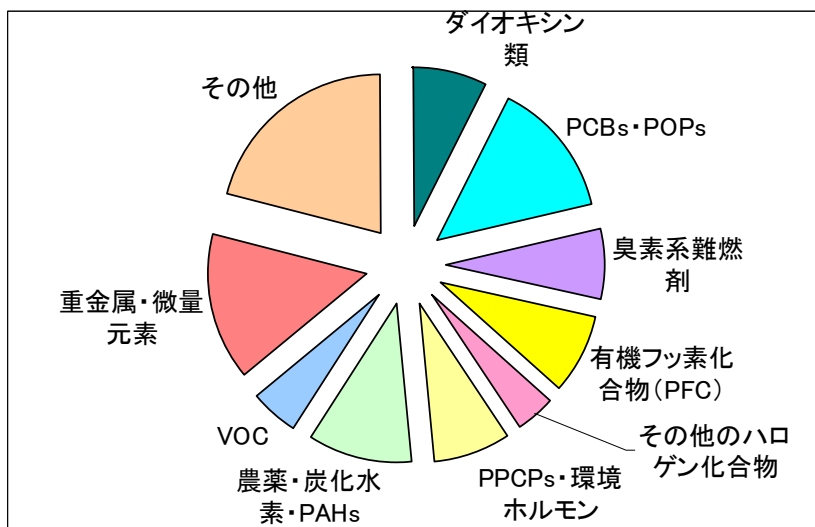
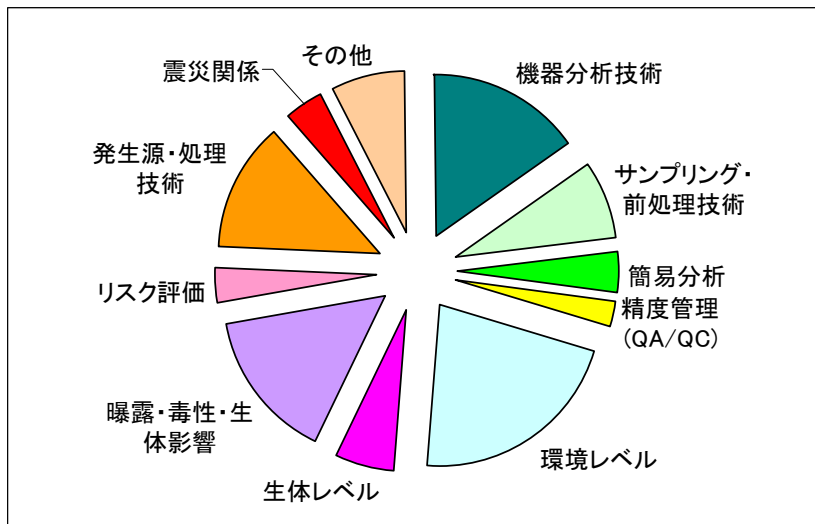
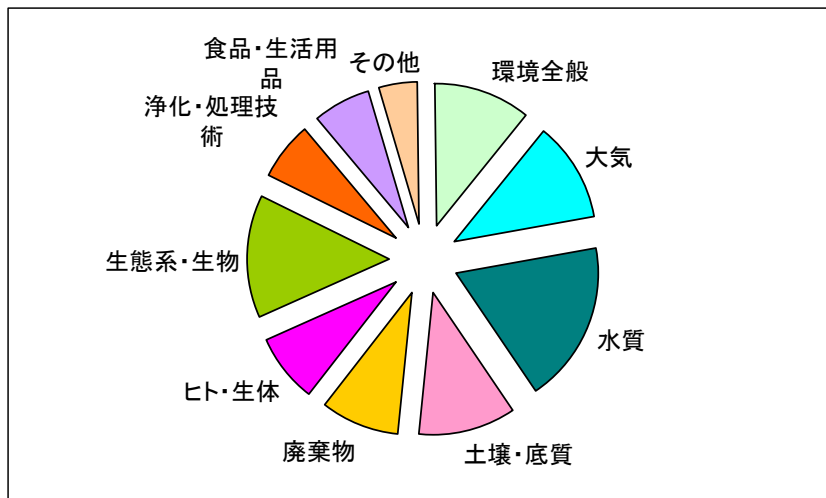
1日目 11日(水) P-奇数番号 コアタイム:15:30~16:45

P-偶数番号 コアタイム:16:45~18:00

2日目 12日(木) 掲示のみ ~16:00

ポスター番号	発表分類	会場
P-001~013	震災関連および放射性・毒性・微量元素	ポスター会場 (F会場(真珠の間))
P-014~038・230	相互検定・標準物質とダイオキシン・POPs 分析技術	
P-039~054	ダイオキシン類・PAHs の環境・生体レベル	
P-055~081	ハロゲン系難燃剤とPPCPs・環境ホルモン	
P-082~099	VOCs 分析技術と環境レベル	
P-100~112	PCBs・POPs の環境レベルと顔料中不純物	
P-113~147	LC-MS・その他機器分析技術と新規環境汚染物質	
P-148~169	環境・生体・廃棄物中の有機フッ素化合物と曝露評価	
P-170~201	有害物質処理・環境浄化・資源循環	
P-202~228	生態毒性・バイオアッセイと環境影響評価	
P-	学生賞評価対象者	

総発表演題数 430題 (口頭発表：201題、ポスター発表：229題)



一般発表プログラム(口頭発表)

※発表者は、講演ファイルを「講演ファイル受付」(2階第2会議室)まで、各発表セッション(例えば1A、1Cなど)開始30分前までにご持参下さい。

A会場(メインホール)

7月11日(水) A会場(メインホール) 10:15~11:45

震災関連~放射性物質

受付 番号	講演 番号	発表者(所属)	演 題
21pr0335	1A-01	○鈴木規之, 今泉圭隆, 櫻井健郎, 河合 徹, 森野悠, 大原利真, 白石寛明(国環研)	福島県周辺水域における放射性物質の多媒体動態モデルの検討
21pr0112	1A-02	○山崎秀夫(近畿大・理工)	福島第一原発事故による首都圏及び東京湾の放射能汚染とその現況
21pr0064	1A-03	○池田四郎(東海大院・地球環境), 関根嗣晃(東海大院・理), 関根嘉香(東海大院・地球環境)	東日本大震災前後に神奈川県内で採取した大気エアロゾル粒子中の放射性物質の挙動
21pr0195	1A-04	○亀田 豊(千葉工大)	パッシブサンプラーによる環境水中放射性セシウム の迅速分析手法に関する研究
21pr0275	1A-05	○田中 敦, 武内章記, 苅部甚一, 神田裕子, 柴田康行, 東 博紀(国環研)	東日本沿岸域での二枚貝及び海水中の放射性物質の濃度分布と経時変化
21pr0342	1A-06	○野口祐樹, 加藤栄一(大阪大院・工, ネオス), 木田敏之(大阪大院・工), 清水喜久雄(大阪大・RI セ), 明石 満(大阪大院・工)	環境適合性洗浄剤を用いた放射性物質汚染土壌の除染技術の開発

7月11日(水) A会場(メインホール) 13:00~15:30

震災関連~その他化学物質・浄化技術

21pr0017	1A-07	○滝上英孝, 小口正弘(国環研), 浅利美鈴(京都市大・環境科学セ), 吉岡敏明(東北大), 大迫政浩(国環研), 酒井伸一(京都市大・環境科学セ)	東日本大震災により生じた津波堆積物の化学性状の解析
21pr0366	1A-08	○高菅卓三(島津テクノリサーチ), 滝上英孝(国環研), 浅利美鈴(京都市大・環境科学セ), 吉岡敏明(東北大), 大迫政浩(国環研), 酒井伸一(京都市大・環境科学セ)	東日本大震災により生じた津波堆積物中の POPs 等の詳細解析
21pr0184	1A-09	○宮崎康平, 後藤悠太, 中田晴彦(熊本大・院), 上野大介(佐賀大・農), 宮脇 崇(福岡県保環研), 松村 徹(いであ), 中村昌文(日吉), 仲井邦彦(東北大院・医)	東北地方沿岸の生物における多環芳香族炭化水素類の濃度分布-東日本大震災による影響調査-
21pr0131	1A-10	○平田和沙, 上野大介, 井上興一, 染谷 孝(佐賀大・農), 中田晴彦(熊本大・院), 宮脇 崇(福岡県保環研), 松村 徹(いであ), 中村昌文(日吉), 田辺信介(愛媛大・浴環研セ), 仲井邦彦(東北大院・医)	東日本大震災被災地で採取された二枚貝中 PCBs 濃度の時系列的変動
21pr0301	1A-11	○中島大介, 白石 不二雄, 中山祥嗣, 鈴木 剛, 新田裕史, 菊池恵介, 佐久間 隆, 小泉俊一, 北村洋子, 菊地秀夫(宮城保環セ), 白石寛明(国環研)	宮城県津波被災地域における大気調査事例の現状報告
21pr0016	1A-12	○滝上英孝, 渡部真文, 倉持秀敏, 大迫政浩(国環研)	津波を被った震災廃棄物の焼却とダイオキシン類等の制御

21pr0409	1A-13	○尾崎宏和(東京農工大・環境リーダー育成セ), 一瀬寛, 鉄田陽介, 松島祐樹, 河野冬樹(東京農工大・院・物質循環環境科学), 渡邊 泉(東京農工大・院)	大島・小松川地区、鉾津埋立地周辺で大震災後に発生した強アルカリ滲出水における高濃度の六価クロム等有害元素
21pr0355	1A-14	○殷 熙洙(農環研), 福井博章(東京シンコール), 馬場浩司(農環研)	水中のセシウムイオン除去のためのゼオライト錠剤の検討
	1A-15	(講演キャンセル)	
	1A-16	(講演キャンセル)	

7月12日(木) A会場(メインホール) 9:30~12:00

ヒト曝露・リスク評価

21pr0395	2A-01	○山崎邦彦, 日置潤一, 下條 正二郎, 戸田英作(環境省)	化学物質の環境リスク初期評価—現状及び今後の方向性
21pr0413	2A-02	高橋宏和, 宮坂宜孝, 山田亜矢, 中村 淳, 坂井 るりこ, 光崎 純, ○平井祐介, 村田 麻里子, 澤田光博(NITE)	化審法におけるスクリーニング評価結果(その1)
21pr0122	2A-03	○半藤逸樹(地球研), 河合徹(国環研)	「化学汚染の Planetary Boundaries」をデザインする
21pr0032	2A-04	○仲井邦彦, 龍田 希, 岩井美幸, 阿部和眞(東北大・医), 村田勝敬(秋田大・医), 細川 徹(東北大・教), 佐藤 洋(東北大・医)	周産期PCBばく露による出生児の発達への影響
21pr0329	2A-05	○桂 加奈, Nguyen Minh Tue(愛媛大・沿環研セ), 鈴木 剛(国環研), 高菅卓三(島津テクノロジー), Pham Hung Viet (CETASD, Hanoi University of Science), 高橋 真, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	ベトナムe-waste処理地域におけるヒト母乳中からの臭素化ダイオキシン類の検出と未知活性物質を含むリスク評価の重要性
21pr0155	2A-06	○阿部和眞, 仲井邦彦(東北大・医), 中村朋之(宮城県保環セ), 龍田 希, 岩井美幸(東北大・医), 黒川修行(宮城教育大), 柳沼 梢(尚絅学院大), 村田勝敬(秋田大・医), 坂本峰至(水俣病セ), 佐藤 洋(東北大・医)	臍帯血PCB濃度を決定する要因の検討
21pr0206	2A-07	○高橋由雅, 大山美香(豊橋技科大)	アクティブサンプリングによるBaseline 毒性のQSARモデリング
21pr0174	2A-08	○角谷秀樹, 山本翔, 山下治子, 秋山恵麻, 中尾晃幸, 太田壮一(摂南大・薬)	ダイオキシン類が有する免疫攪乱作用の検討-70日連続投与ダイオキシン類による抗原特異的な抗体産生変動-
21pr0237	2A-09	○平井哲也(大塚製薬・神戸大院), 木下啓明(大塚製薬), 岡村秀雄, 矢野吉治(神戸大), 中野 武(神戸大・兵庫県環研セ)	海技者の尿中PAH代謝物の分析
21pr0420	2A-10	○中野 武(大阪大), 松村千里, 鶴川正寛, 奥野俊博(兵庫県環研セ)	ヒト生体試料中のPCBのキラル分離分析と同定

7月12日(木) A会場(メインホール) 13:15~15:45

処理技術

21pr0080	2A-11	○鴻上 綾, 川嶋文人, 本田克久(愛媛大・農)	コーヒー粕由来のダイオキシン類吸着剤の開発研究
21pr0222	2A-12	○福田泰教, 宮脇和博, 加藤栄一(ネオス・中央研), 木田敏之, 中野武, 明石 満(大阪大院・工)	PCB全異性体の γ -Cyclodextrin Polymerによる吸着特性
21pr0021	2A-13	○福島 皓太郎, 齋藤 徹, 平出正孝(名古屋大院・工)	ポリアリルアミン-オレイン酸凝集系の設計と医療排水の迅速処理

21pr0023	2A-14	○柴田健司, 石川大晃, 齋藤 徹, 平出正孝(名古屋大院・工)	界面活性剤支援凝集沈殿法による排水中抗菌剤の高効率除去
21pr0102	2A-15	○中島尚哉, 松尾英樹, 小林 淳, 古賀 実(熊本県大・環共)	パルス放電システムによる水環境中マイクロシスチンの分解処理
21pr0022	2A-16	前田徳子, Zinchenko Anatoly, ○村田静昭(名古屋大院・環境)	DNA スポンジの応用6: DNA-キトサン複合体を用いるナノ物質の水溶液中からの除去
21pr0168	2A-17	○櫻井明彦, 藤本有理, 藤原伸哉(福井大・工)	Stenotrophomonas 属微生物を用いたホルムアルデヒドの分解
21pr0189	2A-18	○津野田 隆敏, 大塚将成, 中村洋祐(愛媛県衛環研)	バクテリアリーチングによる愛媛県の廃棄物からの金属の溶出に関する検討
21pr0169	2A-19	○藤原伸哉, 青木俊憲, 栗田知明, 前田裕哉(福井大・工), 畑下昌範(若狭湾エネ研), 南保幸男(幸伸食品), 櫻井明彦(福井大・工)	マンガンペルオキシダーゼによる合成染料の分解

7月13日(金) A会場(メインホール) 10:00~12:30

PPCPs・生活関連物質

21pr0164	3A-01	○火野坂 麻里, 中田晴彦(熊本大・院)	市販製品中の大環状ムスクを含む人工香料等の濃度把握と皮膚経由のヒト暴露量推定
21pr0227	3A-02	○中田晴彦, 柳本隼人, 西留 明日香(熊本大・院), 四方規人(熊本大・理)	ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤のヒト暴露源と環境発生源に関する定性・定量解析
21pr0138	3A-03	○渡辺咲子, 中田晴彦(熊本大・院), 先山孝則(大阪市環科研)	新世代ビスフェノール類の分析法検討と水環境中の濃度分布
21pr0161	3A-04	○折式田 崇仁, 中田晴彦, 細野高啓, 利部 慎, 小野昌彦, 徳永貴大, 嶋田 純(熊本大・院)	地下水および河川水中の人工甘味料をトレーサーとした熊本地域の水流動機構の推定
21pr0255	3A-05	○田中博之, 羽野健志, 河野 久美子(水研セ・瀬水研), 井上 毅(島津テクニサーチ)	広島湾表層海水における防汚剤トリフェニルボランの濃度
21pr0196	3A-06	○山中潤二(長崎大院・水産・環境), 三浦嘉仁(長崎大院・生産), 山下弘樹(長崎大・環境), 久保 隆(長崎大・産学官連携), 長江真樹(長崎大・環境), 有菌幸司(熊本県大・環共), 高尾雄二(長崎大・環境)	生活雑排水等に含まれる分解性の異なる PPCPs をマーカーとした河川水の汚濁源解析
21pr0094	3A-07	○田上瑠美(愛媛大・沿環研セ, 熊本県大院・環共), 野見山 桂(愛媛大・沿環研セ), 佐藤有里, 本山充希(熊本県大院・環共), 中川修平(野田市電子), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ), 篠原亮太(熊本県大院・環共)	再生肥料中に残留する医薬品および植物への移行特性
21pr0339	3A-08	○八十島 誠, 中村明広, 松原 英理子, 上田宏明, 高菅卓三(島津テクニサーチ)	環境水中のノニルフェノール類の総括的分析
21pr0172	3A-09	○小森行也, 北村友一, 南山瑞彦(土木研)	水生生物(魚類)試料のトリクロサン分析
21pr0414	3A-10	○小倉泰郎, 平野一郎(島津製作所)	オンライン固相抽出法および精密質量 MSn 分析を用いた河川水中エストラジオール抱合体の構造解析

B会場(サブホール)

July 11 (Wed.) Room B [English Session] (Sub Hall) 10:15~11:35

International Session 1

21pr0343	1B-01	○Le Huu Tuyen, Nguyen Minh Tue (CMES, Ehime University), Go Suzuki (NIES), Kentaro Misaki (Kyoto University), Pham Hung Viet (CETASD, Hanoi University of Science), Shin Takahashi, Shinsuke Tanabe (CMES, Ehime University)	Effect-directed and chemical analysis of polycyclic aromatic hydrocarbon (PAHs) in road dust from a sub-tropical Asian metropolitan area, Hanoi, Vietnam
21pr0254	1B-02	○Chondo Yvonne, Hossam Nassar, Yoshida Shota, Li Ying, Kameda Takayuki, Toriba Akira, Hayakawa Kazuichi (Kanazawa University, Institute of Health Sciences)	Determination of Nitropolycyclic aromatic hydrocarbons in rivers
21pr0163	1B-03	○Kenshi Sankoda (Prefectural University of Kumamoto), Kei Nomiya (CMES, Ehime University), Ryota Shinohara (Prefectural University of Kumamoto)	Identification of photochemical products of selected polycyclic aromatic hydrocarbons (PAHs) in seawater
21pr0091	1B-04	○Duong Thi Hanh (University of Kitakyushu), Nguyen Quang Trung (AST-IET), Kiwao Kadokami (University of Kitakyushu)	Occurrence of organic micro-pollutants in Vietnamese Rivers

July 11 (Wed.) Room B [English Session] (Sub Hall) 13:00~15:40

International Session 2

21pr0048	1B-05	○Jangho Hong, Katsuhisa Honda (Ehime University)	Development of a simple analysis method for 2,3,7,8-TeCDD derived from Agent Orange in soil
21pr0220	1B-06	○Yohannes Yared, Yoshinori Ikenaka, Shouta Nakayama, Aksorn Saengtienchai, Kensuke Watanabe, Mayumi Ishizuka (Hokkaido University Veterinary Medicine)	Levels and bioaccumulation of organochlorine pesticides in fish species from Lake Ziway, Ethiopia
21pr0072	1B-07	○Lingxiao Kong, Hiroyuki Fujita, Isao Watanabe, Katsuhisa Honda (Ehime University)	Levels of persistent organic pollutants and pesticides in foodstuff from Shandong peninsula, China
21pr0073	1B-08	○Dinsa Megersa, Hiroyuki Fujita, Isao Watanabe, Katsuhisa Honda (Ehime University)	Residue levels of pesticides in foodstuff from Oromia, Ethiopia
21pr0320	1B-09	○Kwadwo Ansong Asante, Shin Takahashi, Tetsuro Agusa, Takaaki Itai (CMES, Ehime University), Sam Adu-Kumi (Environmental Protection Agency, Ghana), Osmund Duodu Ansa-Asare (CSIR, Water Research Institute, Ghana), Shinsuke Tanabe (CMES, Ehime University)	Human exposure to PCBs, BFRs and trace elements from e-waste activities in Ghana
	1B-10	○Hyo-Bang Moon (Hanyang University), Minkyu Choi, Hee-Gu Choi (National Fisheries Research and Development Institute), Kurunthachalam Kannan (Wadsworth Center, New York State Department of Health)	Contamination and bioaccumulation of persistent toxic substances in Korean wildlife and human

	1B-11	○ Sunggyu Lee, Hyo-Bang Moon (Hanyang University)	PBDEs and non-PBDE flame retardants in environmental samples from Korea
21pr0365	1B-12	○ Yabe John, Shouta Nakayama, Yoshinori Ikenaka (Hokkaido University Veterinary Medicine), Kaampwe Muzandu, Kennedy Choongo (University of Zambia), Takashi Umemura, Mayumi Ishizuka (Hokkaido University Veterinary Medicine)	Effects of lead, cadmium and other metals in domestic animals near a lead-zinc mine in Kabwe, Zambia
July 12 (Thu.) Room B [English Session] (Sub Hall) 9:30~12:10 International Session 3			
21pr0088	2B-01	○ Leena Mol Thuruthippallil (CMES, Ehime University), Eun-Young Kim (Kyung Hee University), Akira Kubota (Woods Hole Oceanographic Institution), Hisato Iwata (CMES, Ehime University)	Alternative approaches to wildlife testing for toxicological risk assessment: a case study on AHR-mediated CYP1A induction by dioxin and related compounds in the common cormorant (<i>Phalacrocorax carbo</i>)
21pr0214	2B-02	○ Jin-Seon Lee, Kohei Iwabuchi, Koji Nomaru (CMES, Ehime University), Eun-Young Kim (Kyung Hee University), Hisato Iwata (CMES, Ehime University)	Molecular and functional characterization of 2nd AHR1 in the chicken (<i>Gallus gallus</i>)
	2B-03	○ Su-Min Bak (Kyung Hee University, Seoul, Korea), Midori Iida, Hisato Iwata (Ehime University, Japan), Eun-Young Kim (Kyung Hee University, Seoul, Korea)	Estimation of transactivation potencies of red seabream AHR1/2 isoforms by dioxins
21pr0108	2B-04	○ Jean Yoo, Masashi Hirano (CMES, Ehime University), Akira Kubota (Woods Hole Oceanographic Institution), Eun-Young Kim (Kyung Hee University), Hisato Iwata (CMES, Ehime University)	In vitro and in silico analyses of the catalytic function of the Baikal seal (<i>Pusa sibirica</i>) CYP2 genes.
21pr0096	2B-05	○ Midori Iida (CMES, Ehime University), Eun-Young Kim (Kyung Hee University), Yasunori Murakami (Ehime University), Yasuhiro Shima (National Research Institute of Fisheries and Environment of Inland Sea), Hisato Iwata (CMES, Ehime University)	Morphological abnormalities and pathogenesis of the peripheral nerve in developing red sea bream embryos treated with TCDD
21pr0403	2B-06	○ Nguyen Minh Tue (CMES, Ehime University), Go Suzuki (National Institute for Environmental Studies), Le Huu Tuyen, Tomohiko Isobe, Shin Takahashi (CMES, Ehime University), Pham Hung Viet (Hanoi University of Science), Shinsuke Tanabe (CMES, Ehime University)	CALUX-based toxic activities and occurrence of toxic chemicals in indoor dust from informal waste recycling sites in Vietnam
	2B-07	○ Xiaowei Zhang, Guanyong Su, Hongxia Yu (Nanjing University), John P. Giesy (University of Saskatchewan)	Toxicogenomic screening of environmental pollutants on toxicity
	2B-08	○ Zhaomin Dong, Jianying Hu (Peking University)	A meta-study of cancer dose response for human exposure to dioxin

July 12 (Thu.) Room B [English Session] (Sub Hall) 13:15~15:55

International Session 4

	2B-09	○Jianying Hu, Xiaoqin Wu (Peking University)	Teratogenic retinoic acids in aqueous environment
	2B-10	○ Xiaoshan Liu (Seoul National University), Kyunghye Ji (University of Saskatchewan), Areum Jo, Kyungho Choi (Seoul National University)	Endocrine disruption potentials and related mechanisms of major organophosphate flame retardants
<i>21pr0327</i>	2B-11	○Noh Minwoo (Seoul National University)	Development of an energy-efficient draw agent based on thermosensitive materials and its application to forward osmosis (FO)
<i>21pr0408</i>	2B-12	○ Chris Paget (University of Tokushima / University of South Carolina), Sarah Rothenberg, Alan Decho (University of South Carolina), Minami Yukimoto, Ikumi Tamura, Hiroshi Yamamoto (University of Tokushima)	Removal of aquatic pharmaceutical contaminants by plant uptake and degradation by biofilms
	2B-13	○Agus Sudaryanto, Muhammad Ilyas (Agency for the Assessment and Application of Technology (BPPT)), Adi Slamet Riyadi (Center for Marine Environmental Studies (CMES)), Iwan Eka Setiawan (Agency for the Assessment and Application of Technology (BPPT)), Tomohiko Isobe (Senior Research Fellow Center (SRFC)), Shinsuke Tanabe (Center for Marine Environmental Studies (CMES))	Characterization of BFRs in the environment of Jakarta and surrounding areas
<i>21pr0299</i>	2B-14	○Adi Slamet Riyadi, Takaaki Itai (CMES, Ehime University), Muhammad Ilyas, Agus Sudaryanto, Iwan Eka Setiawan (BPPT, Indonesia), Tomohiko Isobe, Shin Takahashi, Shinsuke Tanabe (CMES, Ehime University)	Spatial-temporal distribution of trace elements in marine sediments from Jakarta Bay
	2B-15	○Mohamad Pauzi Zakaria, Euginie Tan Sing Sing (University Putra Malaysia)	Fate and distribution of pharmaceutical and personal care products (PPCPs) in sewage treatment plants and Malaysian aquatic environments
	2B-16	○Nguyen Hung Minh, Nguyen Anh Tuan, Tran The Loan, Le Ke Son (Vietnam Environmental Administration), Pham Hung Viet (Hanoi University of Science), Takuya Shiozaki, Yuji Kashima, Koichiro Matsumoto (Japan Environmental Sanitation Center), Yasuyuki Shibata (National Institute for Environmental Studies)	Long term monitoring of POP-pesticides in background air to support effectiveness evaluation of Stockholm Convention in Vietnam

7月13日(金) B会場(サブホール) 10:00~11:30

植物利用浄化

21pr0019	3B-01	○廣田又士(神戸大院・農), 吉原亮平(神戸大・遺伝子セ), 兒玉典子(神戸大院・農), 殷 熙洙(農環研), 山崎 清志(神戸大院・農), 乾 秀之(神戸大・遺伝子セ, 神戸大院・農)	残留性有機汚染物質によるウリ科植物の汚染を引き起こす遺伝子の同定
21pr0185	3B-02	○清家伸康, 大谷 卓(農環研)	ウリ科野菜における POPs 汚染度診断法の開発 II. 土壌およびカボチャ果実中へブタクロル類濃度の関係
21pr0140	3B-03	○柏木宣久(統数研), 清家伸康, 元木 裕, 稻生圭哉, 大谷 卓(農環研)	ウリ科野菜における POPs 汚染度診断法の開発 III. 圃場における POPs の土壌中濃度分布について
21pr0322	3B-04	○上田祐子, 本田克久(愛媛大・農)	ウリ科野菜における POPs 汚染度診断法の開発IV. 超音波抽出を用いた迅速抽出法の検討
21pr0371	3B-05	○澤田石 一之, 片岡千和(カーバンクル・バイオサイエンテック), 上田祐子, 本田克久(愛媛大・農)	ウリ科野菜における POPs 汚染度診断法の開発 V. ELISA を利用した迅速検出法と前処理法
21pr0234	3B-06	○大谷 卓, 清家伸康(農環研), 並木 小百合(筑波大)	ウリ科植物におけるディルドリンの吸収・移行に及ぼす生育環境の影響

C 会場(第 6 会議室)

7月11日(水) C会場(第6会議室) 10:15~11:45

PCBs 代謝物・ハロゲン化フェノール

21pr0340	1C-01	○江口哲史, 野見山 桂, Nguyen Minh Tue(愛媛大・沿環研セ), 国末達也(鳥取大・農), Qian Wu (Wadsworth Center, New York State Department of Health), Phan Hung Viet (CETASD, Hanoi University of Science), 高橋 真(愛媛大・沿環研セ), Kurunthachalam Kannan (Wadsworth Center, New York State Department of Health), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	ベトナム e-waste リサイクル地域住民における血清中有機ハロゲン化合物・代謝物の残留及び生化学マーカーとの関係解析
21pr0157	1C-02	○落合真理, 野見山 桂(愛媛大・沿環研セ), 磯部友彦(愛媛大・上級セ), 山田 格, 田島 木綿子, 真柄真実(国立科博・動物), 天野雅男(長崎大・水産), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	小型鯨類スナメリの脳に残留する3-8 塩素化および臭素化フェノール類の蓄積特性と血液を介した脳移行の実態解明
21pr0233	1C-03	○長野靖子, 野見山 桂, 水川葉月, 山本美幸(愛媛大・沿環研セ), 中津 賞(中津動物病院), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	アライグマの血中に残留するハロゲン化フェノール類の蓄積特性とその起源
21pr0321	1C-04	○野見山 桂, 神原千佳, 水川葉月, 江口哲史, 落合真理(愛媛大・沿環研セ), 磯部友彦(愛媛大・上級セ), 山田 格(国立科博・動物), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	日本沿岸域に棲息する鰭脚類の血中ハロゲン化フェノール類の蓄積特性とその起源
21pr0290	1C-05	○水川葉月, 野見山 桂(愛媛大・沿環研セ), 中津 賞(中津動物病院), 山本美幸, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	ペットのネコはハロゲン化代謝物のハイリスクアニマルか?
21pr0291	1C-06	○水川葉月, 野見山 桂(愛媛大・沿環研セ), 中津 賞(中津動物病院), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	ペットのネコ血中ハロゲン化フェノール類は代謝生成物か?

7月11日(水) C会場(第6会議室) 13:00~15:30

有機フッ素系化合物(1)~分析・環境レベル・分解

21pr0253	1C-07	○原田浩二, 藤井 由希子, 小泉昭夫(京大・医・環境衛生)	GC-ECNI-MS による食事試料中ペルフルオロカルボン酸の分析
21pr0402	1C-08	○山本敦史, 東條俊樹(大阪市環科研), 竹峰秀祐(兵庫県環研セ), 栗原正憲, 吉澤 正(千葉県環研セ)	PFOS/PFOA の同族体, 異性体分離 III ~PFCs 分析のうち, どの分析が価値があるのか
21pr0292	1C-09	○竹峰秀祐(兵庫県環研セ, 大阪大院・工), 山本勝也, 松村千里, 藤森一男(兵庫県環研セ), 中野 武, 近藤 明(大阪大院・工)	ペルフルオロカルボン酸類とフッ素テロマーアルコール類の排水処理工程中での挙動について
21pr0044	1C-10	○西野貴裕, 上野孝司(東京都環科研), 仲摩翔太, 北野 大(明治大院), 高橋明宏(東京都下水道局)	多摩川水系における有機フッ素化合物の環境実態
21pr0046	1C-11	○近藤博文, 宮尻久美, 蒲 敏幸(京都府保環研)	京都府内の河川及び海域における有機フッ素化合物の環境実態について
21pr0031	1C-12	○村上道夫(京大・水の知), 錦織浩志, 酒井宏治, 小熊 久美子(京大大院・工), 高田秀重(京大農工大・農), 滝沢 智(京大大院・工)	地下水中微生物による前駆物質からのフッ素系界面活性剤の生成
21pr0111	1C-13	○中島純夫(札幌市衛研)	下水処理プロセスにおける有機フッ素化合物について

21pr0396	1C-14	○大井悦雅, 渡邊清彦, 本田 守, 高菅卓三(島津テクノロジー), 滝上英孝, 梶原夏子(国環研)	製品に含まれる PFOS 類縁物質等の分解性試験による挙動について
21pr0242	1C-15	○大野正貴, 大倉遼一(新潟薬大・応用生命), Esteban R Mino A(広島大・環安セ), 小瀬知洋(新潟薬大・応用生命), 奥田哲士(広島大・環安セ), 浅田隆志(福島大・共生システム), 中井智司(広島大院・工), 西嶋 涉(広島大・環安セ), 川田邦明(新潟薬大・応用生命)	鉄固定化触媒によるペルフルオロオクタン酸の紫外線分解
21pr0262	1C-16	○伊藤雅隆, 大野正貴(新潟薬大・応用生命), Esteban R Mino A(広島大・環安セ), 小瀬知洋(新潟薬大・応用生命), 奥田哲士(広島大・環境安全セ), 中井智司(広島大・工), 西嶋 涉(広島大・環境安全セ), 川田邦明(新潟薬大・応用生命)	鉄触媒を用いたペルフルオロカルボン酸類の光分解挙動とその機構

7月12日(木) C会場(第6会議室) 9:30~12:00

有機フッ素系化合物(2)~分析・環境レベル・分解

21pr0350	2C-01	○山本周作(大阪工大院・環境), 渡辺信久(大阪工大)	大気圧ヘリウムラジオ波バリアー放電原子発光分析法を用いた有機フッ素の定量について
21pr0125	2C-02	○東條俊樹, 山本敦史(大阪市環科研)	大阪市域における大気降下物中 PFOS/PFOA および類縁化合物の年間降下量

難燃剤(1)~発生源・室内曝露

21pr0422	2C-03	○倉持秀敏, 滝上英孝(国環研), Martin Scheringer (ETH Zurich), 酒井伸一(京都大)	非PBDE 臭素系難燃剤の残留性および長距離移動性の評価と優先的に測定すべき物理化学パラメータの抽出
21pr0228	2C-04	○黒瀬 航, 小瀬知洋(新潟薬大・応用生命), 滝上英孝(国環研), 川田邦明(新潟薬大・応用生命)	縮合リン酸エステル類難燃剤による難燃化製品から生じる分解生成物の使用時および廃棄時における排出評価
21pr0036	2C-05	○金 俊佑, 磯部友彦(愛媛大・上級セ), Nguyen Minh Tue, 武藤 衛(愛媛大・沿環研セ), Pham Hung Viet (Hanoi University of Science), 高橋 真, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	ベトナムにおけるハウスダスト中有機リン系難燃剤の汚染実態
21pr0136	2C-06	○浅川 亨(佐賀大・農), 市場正良(佐賀大・医), 滝上英孝(国環研), 井上興一, 染谷 孝, 上野大介(佐賀大・農)	小学生を対象とした手を介した有機リン系難燃可塑剤(PFRPs)の経口摂取量の推定
21pr0100	2C-07	○朴 相我, 渡辺 功, 藤田寛之(愛媛大・農), 関 丙允, 全 弘杓(慶南大・環境工学), 本田克久(愛媛大・農)	韓国におけるハウスダスト中の PBDEs レベル及び異性体組成
21pr0267	2C-08	○鈴木 剛(国環研), Nguyen Mihn Tue, 高橋 真, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ), 酒井伸一(京都大環科セ), 滝上英孝(国環研)	室内ダストと主要難燃剤のハザード特性比較
21pr0295	2C-09	○松神秀徳(国環研), 小瀬知洋(新潟薬大・応用生命), 渡部真文, 滝上英孝(国環研)	有機リン系難燃剤を含有する廃棄物の焼却処理過程における分解挙動
21pr0397	2C-10	○梶原夏子, 滝上英孝(国環研), 平田 修, 松藤康司, 立藤綾子(福岡大), 野馬幸生(福岡女子大)	途上国埋立地を模した大型埋立シミュレータからの臭素系難燃剤の溶出挙動

7月12日(木) C会場(第6会議室) 13:15~15:45

難燃剤(2)~環境・生体レベル・毒性

21pr0223	2C-11	○山本美幸(愛媛大・沿環研セ), 磯部友彦(愛媛大・上級セ), 中津 賞(中津動物病院), 谷内森 秀二(四国自然科研セ), 水川葉月, 野見山 桂, 高橋 真, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	アライグマ(<i>Procyon lotor</i>)から検出された有機ハロゲン化合物の蓄積特性
21pr0250	2C-12	○大上 格, 鈴木 茂(中部大院)	LC/MS/MS による臭素化難燃剤取扱事業所周辺における水質、底質、道路粉塵の調査
21pr0118	2C-13	○呉 正根, 小谷健輔, 真名垣聡, 益永茂樹(横浜国大院)	河川底質におけるHBCDとその分解産物の分布
21pr0075	2C-14	○杉本里菜(愛媛大・沿環研セ), 磯部友彦(愛媛大・上級セ), 山田 格, 田島 木綿子, 真柄真実(国立科博・動物), 野見山 桂, 高橋 真, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	カズハゴンドウにおける臭素系難燃剤蓄積レベルの経年変動
21pr0338	2C-15	○磯部友彦(愛媛大・上級セ), 濱田宏基(愛媛大・沿環研セ), 張 光玟(Environ Sci Eng・Kyung Hee University), 宝来 佐和子(鳥取大・地域学), 高橋 真, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	有機塩素化合物・臭素系難燃剤による東シナ海の魚介類汚染と生物濃縮
21pr0059	2C-16	○武藤 衛(愛媛大・沿環研セ), 金 俊佑, 磯部友彦(愛媛大・上級セ), Nguyen Minh Tue, 桂 加奈(愛媛大・沿環研セ), Pham Hung VIET(CETASD), 高橋 真, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	ベトナム人母乳中の有機リン系難燃剤汚染
21pr0045	2C-17	○後藤哲智(愛媛大・沿環研セ), 染矢雅之(国環研), 磯部友彦(愛媛大・上級セ), 高橋 真, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	東京湾堆積物における臭素化ダイオキシン類の分布と経年変化
21pr0098	2C-18	○関 祐里, 寺崎正紀, 牧野正和(静岡県大院)	ハロゲン化フェノール類の甲状腺ホルモン活性と代謝活性化
21pr0259	2C-19	○秋山恵麻, 元村友香, 平林祥匡, 高野友希, 角谷秀樹, 中尾晃幸, 太田壮一(摂南大・薬)	脂肪細胞に対する TBBPA が有する恒常性攪乱作用の解明
21pr0077	2C-20	○中尾晃幸, 西木博美, 西田彩織, 家村崇弘, 松本由貴, 石坂 真莉子, 角谷秀樹, 秋山恵麻, 太田壮一(摂南大・薬)	乳幼児食品中のビスフェノール系化合物による汚染実態の解明とその健康影響評価(第2報)

7月13日(金) C会場(第6会議室) 10:00~12:30

毒性・リスク評価・バイオアッセイ

21pr0213	3C-01	○三浦良彰, 阿草哲郎, 渡辺倫夫, 鈴木賢一(愛媛大・沿環研セ), See-Eun Cho, Eun-Young Kim(Kyung Hee University), 宮崎龍彦, 能勢真人(愛媛大・医), 岩田久人(愛媛大・沿環研セ)	組換え近交系マウスを用いたダイオキシン感受性規定因子の探索
21pr0280	3C-02	○渡部春奈(国環研), 窪田和代(富士フィルム), 澤井 淳(いであ), 名久井 博之(エコジェノミクス), 新野竜大(三菱化学メディエンス), 原 匠(住化テクノサービス), 原田 新(クレハ分析センター), 松浦 武(CERI), 山本裕史(徳島大), 太田暁子(エコジェノミクス), 岡村哲郎(いであ), 佐藤快斉(クレハ分析センター), 関 雅範(CERI), 立花明子(住化テクノサービス), 田村生弥(徳島大), 平井 真知子(富士フィルム), 三浦 史(三菱化学メディエンス), 鎌迫典久(国環研)	日本版WETに適したバイオアッセイ手法のリングテスト結果について

21pr0423	3C-03	○堀口敏宏(国環研), 蒲原 聡, 山田 智, 和久光靖, 岩田靖宏, 石田基雄(愛知県水試), 鈴木輝明(名城大), 白石寛明(国環研)	流水式曝露試験装置によるアサリ幼生及び稚貝の貧酸素耐性評価
21pr0312	3C-04	○小栗真美, 池中良徳, Aksorn Saengtienchai, 石塚真由美(北海道大・獣医)	魚類における異物代謝機構の特徴と種差: 多環芳香族炭化水素(PAH)に対する生体防御
21pr0050	3C-05	○鑓迫典久, 岡 知宏, 高信 ひとみ(国環研), 澤井淳, 大西悠太(いであ), 井口泰泉(岡崎統合バイオ)	メダカ TG229 を用いた内分泌かく乱化学物質のスクリーニング法
21pr0051	3C-06	○高信 ひとみ(国環研), 中村 中(東京大新領域), 斉藤和代, 小塩正朗(国環研), 鑓迫典久(国環研, 東大新領域)	メダカ TG229 を用いたフェニトイン(抗てんかん薬)の影響について
21pr0049	3C-07	○長江真樹, 山下裕樹(長崎大・環境), 岡知 宏, 鑓迫典久(国環研), 大西悠太, 福留幸治(いであ), Ioanna Katsiadaki(CEFAS), 井口泰泉(岡崎共同研究機構)	イトヨおよびメダカの二次性徴を指標とした男性ホルモン様化学物質の検出法の検討
21pr0142	3C-08	○鈴木賢一, 岩田久人(愛媛大・沿環研セ)	Molecular characterization of Xenopus cytochrome P450 family 1-4 for assessing the biological effects of environmental pollutants on amphibians
21pr0400	3C-09	○平野将司(愛媛大・沿環研セ), 石橋弘志(尚絅大), 金 恩英(Kyung Hee University), 有菌幸司(熊本県大), 岩田久人(愛媛大・沿環研セ)	環境化学物質による甲殻類脱皮ホルモン受容体を介した影響の評価: in vitro/in silico 解析の結果
21pr0367	3C-10	○田村生弥, 安田侑右(徳島大院・総科), 中野太洋(徳島大・総科), 亀田 豊(千葉工業大), 木村 久美子(さいたま市・健科研セ), 中田典秀(京都大院・流域圏セ), 鑓迫典久(国環研), 山本裕史(徳島大・SAS 研)	都市河川底質の底生生物に対する生態毒性と生活関連汚染物質の寄与

D 会場(第 8 会議室)

7月11日(水) D 会場(第 8 会議室) 13:00~15:30

POPs・農薬・PAHs~濃度レベル

21pr0368	1D-01	清水潤子(海上保安庁・海洋情報部), ○高橋 真(愛媛大・沿環研セ), 渡邊 奈保子, 山尾 理(海上保安庁・海洋情報部), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ), 内田圭祐(いであ), 小嶋哲哉(海上保安庁・海洋情報部)	東シナ海外洋域における POPs 汚染の時空間分布
21pr0377	1D-02	○高田秀重, 湯山将樹, Yeo Bee Geok, 伊東万木, 山下 麗(東京農工大・農)	International Pellet Watch : POPs 汚染のバックグラウンド、ホットスポットの特定、経年変化
21pr0129	1D-03	○河合 徹, 鈴木規之(国環研), 半藤逸樹(地球研)	全球多媒体モデルを用いた残留性有機汚染物質の発生源寄与率解析
21pr0243	1D-04	○今泉圭隆, 白石 不二雄, 芹澤滋子(国環研), 郷右近 順子(宮城県・保環セ), 今津佳子(静岡県・環衛科研), 永井里央(鹿児島県・環保セ), 川田邦明(新潟薬大・応用生命), 山本裕史(徳島大院・SAS 研), 中島大介, 櫻井健郎, 鈴木規之, 白石寛明(国環研)	河川水中の農薬濃度モニタリングと水田農薬の環境中排出推定モデルの構築
21pr0165	1D-05	○川崎悦子, 梶田香奈, 北川宏子, 中田俊芳(日吉), 端山翔平, 鎌田素之(関東学院大・工), 須戸 幹(滋賀県大・環境)	新規水道水管理目標設定項目検討対象農薬の検査法開発と環境中存在実態
21pr0229	1D-06	○久保拓也, 長沢俊輔, 小瀬知洋, 川田邦明(新潟薬大・応用生命)	水田に散布された除草剤ビラゾレートの減衰
21pr0246	1D-07	○大野正貴, 諸橋将雪, 長沢俊輔, 塩谷奈美(新潟薬大・応用生命), 鈴木和将(埼玉県環科国際セ), 小瀬知洋, 川田邦明(新潟薬大・応用生命)	水田土壌における除草剤プロモプチド及びその脱臭素化代謝物質の減少
21pr0087	1D-08	○アリンソン 真由美, マイヤー, ジャッキー(メルボルン大), ブイ, アンドゥイエン, ローズ, ギャビン, ザング, ペイ(DPI ビクトリア), ペティグロブ, ビンセント(メルボルン大), アリンソン, グレーエム(DPI ビクトリア)	メルボルンのストームウォーターの毒性に関するパイロット調査
21pr0274	1D-09	○伊藤信靖(産総研・計測標準), 坂上伸生(茨城大・農), 鳥村政基(産総研・環境管理), 渡邊 真紀子(首都大・都市環境)	琵琶湖底質に含まれるペリレンの起源
21pr0194	1D-10	○池中良徳, Aksorn Saengtienchai, 石塚 真由美(北海道大・獣医)	薬物代謝第 II 相抱合反応の種間差: 多環芳香族炭化水素の抱合反応と哺乳動物で観察された種差

7月12日(木) D 会場(第 8 会議室) 9:30~12:00

特別テーマセッション 顔料中 PCBs 等 化成品中の不純物

	2D-01	○中野 武(大阪大), 姉崎克典(道総研 環境セ), 高橋玄太, 俵健二(ひょうご環境創造協)	有機顔料製造過程での PCB 生成
21pr0425	2D-02	○高菅卓三(島津テクニサーチ), 中野 武(大阪大), 柴田康行(国環研)	塩素系難燃剤塩素化パラフィン中の POPs 汚染
	2D-03	○鈴木 剛(国環研), 滝上英孝(国環研), 渡部真文(国環研), 高橋 真(愛媛大), 能勢和聡(大塚製薬), 浅利美鈴, 酒井伸一(京都大)	臭素系難燃剤中不純物としての 2,4,6-トリプロモフェノールの同定
	2D-04	○酒井伸一(京都大), 滝上英孝(国環研)	臭素系難燃剤 PBDE と臭素系ダイオキシン類
	2D-05	総合討論	総合討論

重金属・微量元素(1)～堆積物・経年変動			
21pr0115	2D-06	○中川亮太(近畿大院・総合理工), 谷本聡美, 堀田竜志, 山崎秀夫(近畿大・理工)	和歌山県田辺湾底質コアの化学的特徴とそこに記録された歴史イベントの評価
21pr0117	2D-07	○石津直人(近畿大院・総合理工), 長谷川 敦美, 林由加里, (近畿大・理工), 桧尾亮一(龍谷大・理工), 山崎秀夫(近畿大・理工)	琵琶湖の堆積環境と環境汚染に関する研究(2): 琵琶湖底質の重金属汚染とその歴史の変遷
21pr0315	2D-08	○兵部唯香, 板井啓明, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	貧酸素化に伴う琵琶湖北湖底泥からのマンガンおよびヒ素の溶出 ～間隙水の分析結果から見た動態解析～
21pr0278	2D-09	河野 麻希子(名古屋大・環境), ○谷水雅治(海洋機構・高知), 浅原良浩(名古屋大・環境), 南 雅代, 中村俊夫(名古屋大・年測), 細野高啓(熊本大・先端機構)	北海道泥炭コア試料中に記録された人為起源放出鉛の時系列供給源解析
21pr0012	2D-10	○渡邊 泉, 横内宏亮(東京農工大・院)	2003年から2011年に採取した潮間帯生物を用いた油壺湾の微量元素レベルの変化
7月12日(木) D会場(第8会議室) 13:15～15:45			
重金属・微量元素(2)～毒性・リスク評価・廃棄物			
21pr0053	2D-11	○西村 彩, 南 有紀, 中島常憲, 高梨啓和, 大木 章(鹿児島大)	重金属の淡水産生物に対する毒性と配位性化合物による毒性緩和
21pr0001	2D-12	小出礼美, ○森脇 洋, 吉川律子, 蕨野裕哉, 山本博規(信州大・繊維)	枯草菌野生株およびリポテイコ酸合成変異株の細胞壁に対する希土類金属イオンの吸着
21pr0130	2D-13	○関根嗣晃(東海大院・理), 池田四郎(東海大院・地球環境), 関根嘉香(東海大院・理)	Werner 型錯体に曝露された海洋性発光バクテリア <i>Vibrio fischeri</i> の生物発光強度に対する配位構造の影響
21pr0205	2D-14	○谷口大輔(鳥取大・地域・地環), 水川葉月, 野見山桂(愛媛大・沿環研セ), 檜垣彰吾(鳥取大・獣医), 渡邊 泉(東京農工大・農), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ), 宝来 佐和子(鳥取大・地域・地環)	イエネコ (<i>Felis catus</i>) の微量元素蓄積特性と健康影響評価
21pr0385	2D-15	○阿草哲郎(愛媛大・沿環研セ), 小森浩章, 曾我美子, 能勢真人(愛媛大・医), 森 士朗(東北大・歯), 久保田 領志, (NIHS), 田辺信介, 岩田久人(愛媛大・沿環研セ)	ヒ素代謝・排泄に関与する感受性遺伝子の探索
21pr0419	2D-16	○小栗朋子, 吉永 淳(東京大院), 田尾博明, 中里哲也(産総研)	日本人のヒ素曝露調査(3)ー曝露に寄与する食品群の探索ー
21pr0261	2D-17	○板井啓明, 高橋 真, Nguyen Ngoc Ha, 阿草哲郎, Kuwadwo Ansong Asante, 大塚将成, Annamalai Subramanian(愛媛大・沿環研セ), Pham Thi Kim Trang, Pham Hung Viet(ハノイ国立大・CETASD), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	アジア・アフリカ途上国の e-waste 処理場周辺における重金属類汚染 II —ATSDR 基準を適用した複合毒性リスク評価—
21pr0004	2D-18	○藤森 崇, 滝上英孝(国環研)	E-waste リサイクル敷地内における表層土壌の重金属汚染スケール
21pr0078	2D-19	○中島悦子, 磯辺篤彦, 加古 真一郎, 板井啓明, 高橋 真(愛媛大・沿環研セ)	漂着プラスチックごみ由来の重金属による海岸汚染の定量評価
21pr0083	2D-20	○一瀬 寛(東京農工大・院), 尾崎宏和(東京農工大), 北浦恵美, 前田俊宣(埼玉西部・土と水と空気を守る会), 渡邊 泉(東京農工大)	2010-2011年での所沢市周辺における産業廃棄物処理場からのSb汚染

7月13日(金) D会場(第8会議室) 10:00~12:30

重金属・微量元素(3)～環境・生体レベル

21pr0332	3D-01	○安達春樹, 板井啓明, 高橋 真(愛媛大・沿環研セ), 窪寺恒己(国立科博・動物), 治多伸介(愛媛大・地環研), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	山陰沖・北陸沖深海に生息する魚介類の微量元素形態分析と食物網を介した生物濃縮性評価
21pr0124	3D-02	○武内章記(国環研)	日本近海マグロの水銀同位体組成
21pr0093	3D-03	○縄田 佳那恵(鳥取大・地域・地環), Gnanasekaran Devanathan, Annamalai Subramanian(愛媛大・沿環研セ), 渡邊 泉(東京農工大・農), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ), 宝来 佐和子(鳥取大・地域・地環)	インドで捕獲されたジャワマンゲース (<i>Herpestes javanicus</i>) における微量元素蓄積特性
21pr0070	3D-04	○宝来 佐和子(鳥取大), 渡邊 泉(東京農工大・農), 中村幹雄(日本シジミ研)	水門開放は湖山池にどのような影響を与えるか?
21pr0309	3D-05	○柴田康行, 梅津豊司, 細谷朋子(国環研), 吉兼光葉(東京大)	マイクロダイアリススーLCMSMS による経口投与したジフェニルアルシン酸のマウス脳内への移行の分析
21pr0268	3D-06	○山田紘子(広島大院・理), 高橋嘉夫(広島大・院理), Hainbo QIN (Institute of Geochemistry(CAS))	XAFS 法による日本と中国の室内塵及び公園の砂に含まれる鉛のスペシエーション
21pr0062	3D-07	○大保 愛, 谷 祐太, 阿南 弥寿美, 小椋康光(昭葉大・薬)	セレン化合物を投与したウズラにおけるセレンの化学形態分析
21pr0003	3D-08	○藤森 崇, 鈴木 剛, 滝上英孝(国環研)	蛍光 X 線多元素マッピングによる工場ダスト中フラグメントの視認同定
21pr0121	3D-09	○坂田昂平, 坂口 綾(広島大院・理), 谷水雅治(JAMSTEC), 高橋嘉夫(広島大院・理), 高久雄一(国環研)	大気中の鉛同位体比および化学種の精密分析
21pr0283	3D-10	○大塚将成, 板井啓明, Nguyen Ngoc Ha, 阿草哲郎, Kuwadwo Ansong Asant, Annamarai Subramanian(愛媛大・沿環研セ), Pham Thi Kim Trang, Pham Hung Viet (ハノイ国立大・CETASD), 高橋 真, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	アジア・アフリカ途上国の e-waste 処理場周辺における重金属類汚染 I - XAFSによるCu, Zn, Brの化学形態解析-

E 会場(第 5、7 会議室)

7月11日(水) E会場(第5、7会議室) 13:00~15:30

分析技術(1)~一斉分析・精度管理

21pr0143	1E-01	○頭士泰之, 橋本俊次(国環研), 益永茂樹(横浜国大), 金井 豊(産総研), 伏見暁洋, 高澤嘉一, 田邊潔, 柴田康行(国環研)	GCxGC-MS/MS 及び GCxGC-HRTOFMS による迅速網羅分析手法の開発 ~東京湾堆積物コア試料への適用~
21pr0056	1E-02	○橋本俊次, 頭士泰之, 高澤嘉一, 伏見暁洋, 田邊潔, 柴田康行(国環研)	GC×GC-HRTOFMS による網羅分析データからの有機ハロゲン化合物の選択的抽出
21pr0230	1E-03	○家田曜世, 落合伸夫(ゲステル), 石井啓介, 小野寺 潤(日本電子), 磯部友彦, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ), 山田 格, 田島 木綿子(国立科博)	GC x GC - 高分解能 TOF-MS によるカズハゴンドウ脂皮抽出液の分析
21pr0149	1E-04	○高橋 厚, 佐才秀平, 山内 慎, 中村好宏, 稲葉康人, 内田圭祐, 松村 徹(いであ)	生物試料中の GC/MS 対象 POPs一斉分析法の検討(その2)
21pr0244	1E-05	○村上 彰(中部大院), 滝埜昌彦(アジレント・テクノロジー), 鈴木 茂(中部大院), 杉浦愛野(岐阜公衛検)	不法投棄地周辺の LC/Q-ToFMS による浸出水を対象とした化学物質の定性分析
21pr0258	1E-06	○鈴木 茂, 村上 彰(中部大院), 滝埜昌彦(アジレント・テクノロジー)	LC/MS の定性分析に供する分子関連イオン、プロダクトイオン、中性ロスの精密質量データベースに関する研究
21pr0128	1E-07	○佐藤智行, 北原祐輔, 小林 厚, 佐藤信俊, 鈴木滋, 松 宏(東北緑化環境保全)	有機ハロゲン化合物分析への GC/MS/CI 法の適用
21pr0286	1E-08	○岩田直樹, 岡田 淳, 嶽盛公昭, 林 篤宏, 井上毅, 高菅卓三(島津テクノロジー)	有機顔料中の PCB 分析における技術的課題
21pr0418	1E-09	○松村 徹, 沓掛洋志(いであ)	規格化法を用いた絶縁油中の PCB 定量法(VII)
21pr0065	1E-10	○沼田雅彦, 石川 啓一郎, 稲垣真輔, 松尾 真由美(産総研)	PCB 混合標準液(認証標準物質: NMIJ CRM 7906-a)の開発

7月12日(木) E会場(第5、7会議室) 9:30~12:00

分析技術(2)~その他化学物質

21pr0055	2E-01	○林 健太郎, 大迫譲滋, 中島常憲, 高梨啓和, 大木章(鹿児島大)	魚肉中に含まれる水銀とセレンの再資源化処理による化学形態変化
21pr0104	2E-02	○正木浩幸, 大山聖一, 佐藤一男(電中研)	プロセス排水を対象とした全セレン自動計測装置の開発と実証
21pr0178	2E-03	○中村 中(東京大院・新領域), 平野 靖史郎(国環研), 山室真澄(東京大院・新領域), 鱸迫典久(国環研)	動的光散乱法を用いた水中ナノ粒子の粒径測定条件及び解析手法の考察
21pr0135	2E-04	○伊藤玲花, 上田祐子, 本田克久(愛媛大・農)	農作物中 POPs の簡易迅速分析法の検討
21pr0038	2E-05	斎藤香織(サーモフィッシャー), 三浦聡子, 李 卉, 北川幹也(日本ダイオネクス), 窪田雅之, 山岸陽子(サーモフィッシャー), 関口陽子(日本ダイオネクス), ○坂本 茂, 中野辰彦(サーモフィッシャー)	ミックスモードカラムを用いた LC-MS/MS によるハロ酢酸の定量分析
21pr0226	2E-06	○宮本紫織, 福田正幸(愛媛県衛環研), 新田祐子(宇和島保健所), 吉田紀美, 大倉敏裕(愛媛県衛環研)	LC/ICP/MS による水道水中における有機リン系農薬の分析法の検討

21pr0076	2E-07	○高桑裕史, 杉立 久仁代, 中村貞夫(アジレント・テクノロジー)	自動前処理装置を用いた化成品中の有機スズ分析
21pr0307	2E-08	○柳下 真由子(東邦大), 中島大介, 白石寛明(国環研), 大島 茂(東邦大)	ニトロ化芳香族ケトン分光学的検出方法の開発—蛍光増強現象の機構とその応用—
21pr0305	2E-09	○山本貴士(国環研), 貴田晶子(愛媛大)	電子顕微鏡法による石綿分析における誤差要因の検討
	2E-10	(講演キャンセル)	

7月12日(木) E会場(第5、7会議室) 13:15~15:45

大気~分析・環境レベル・長距離移動

21pr0153	2E-11	○石坂閣啓(三浦工業), 川嶋文人(愛媛大・農)	揮発性有機化合物暴露試験および理論的算出によるサンプリングレート比較
21pr0173	2E-12	○藤森英治(環境調査研修所), 奥田知明(慶應大), 本多将俊(環境調査研修所)	偏光光学系蛍光 X 線分析装置を用いる大気中粒子状物質の多元素迅速測定法の検討
21pr0061	2E-13	○鳥山成一, 徳田 亜沙美, 永森将治, 矢谷信次(富山高専), 近藤隆之, 木戸瑞佳(富山環境科学セ), 中谷訓幸(富山大), 田中 敦, 西川雅高(国環研)	立山地域(標高 2,450m, 標高 1,180m)における揮発性有機化合物(VOCs)の測定
21pr0190	2E-14	○羽賀雄紀(兵庫県環研セ), 鈴木元治(神戸大), 鶴川正寛(兵庫県環研セ), 矢本善也(関西大・化学生命工), 松村千里(兵庫県環研セ), 中野 武(大阪大)	大気中の OH-PCBs の分析法開発
21pr0030	2E-15	○三島聡子(神奈川県環科セ), 田中達也(明治大・院・理工), 北野 大(明治大・院・理工)	タイヤ摩耗粉じん中タイヤ添加剤の環境負荷
21pr0034	2E-16	○伊藤 麻南美(東京薬大院・生命), 熊田英峰(東京薬大・生命), 中島典之(東京大), 高田秀重(東京農工大・農), 青木元秀, 藤原 祺多夫(東京薬大・生命)	パッシブエアサンプラー(PAS)を用いた東京都心および郊外大気中 PAHs の季節変動観測
	2E-17	(講演キャンセル)	
21pr0300	2E-18	○伊東万木, 高田秀重, Yeo Bee Geok(東京農工大)	International pellet watch と passive air sampling を組み合わせた POPs 汚染源の推定
21pr0308	2E-19	○高橋嘉夫, 古川丈真(広島大院・理)	エアロゾル中の鉄の化学種と溶解性の季節変化
21pr0063	2E-20	○坂田昌弘, 石川友美, 光延 聖(静岡県大)	中国大陸からの石炭燃焼由来エアロゾルのトレーサーとしてのイオウおよびホウ素同位体比の有効性

7月13日(金) E会場(第5、7会議室) 10:00~12:30

リサイクル・一般水質・その他

21pr0025	3E-01	前田裕子, Zinchenko Anatoly, ○村田静昭(名古屋大院・環境)	DNA スポンジの応用7: DNAゲルを用いる有用金属の回収
21pr0238	3E-02	○宮地 亜沙美(広島大院・理), 近藤和博(アイシン・コムモス研), 田中万也(広島大サステナブル・ディベロップメント実践研究センター), 高橋嘉夫(広島大院・理)	DNA や白子を用いたレアアースの分離・回収
21pr0287	3E-03	○山本 絢, 山下正純, 本田克久(愛媛大・農)	木質系バイオエタノール副生リグニンの悪臭物質吸着剤としての有効利用
21pr0225	3E-04	○森田隼平, 安田侑右, 駕田 啓一郎, 田村生弥(徳島大院・総科), 鎌迫典久(国環研), 山本裕史(徳島大院・SAS 研)	一級河川の水生生物に対する生体毒性影響とアンモニア・塩類等の水質項目との相関

21pr0079	3E-05	○中村健治(繊維産業技術センター)	各種有機酸によるインジゴの還元特性および染色性の解明
21pr0043	3E-06	○秋久智国, 本田克久, 山下正純(愛媛大・農)	ヒブナ飼育におけるマイクロバブルの成長促進効果
21pr0148	3E-07	○速水裕人, 深澤達矢, 佐藤 久, 高橋正宏(北大院・工), 五十嵐 聖貴(北海道総研・環研セ), 田中 敦(国環研)	ジルコニアカラムを用いた極低濃度リン測定法の検討～摩周湖水を対象として～
21pr0013	3E-08	○福垣内暁(愛媛産技研)	製紙スラッジ焼却灰から合成された層状複水酸化物の染料吸着能
21pr0346	3E-09	○水口弘務(大阪工大院・環境), 今村 豪(大阪工大・環境工), 渡辺信久(大阪工大・環境工)	都市ゴミ焼却灰溶融処理時の重量変化率・電気伝導率の計測
21pr0007	3E-10	○岡野多門(鳥取大), 安藤重樹(鳥取大)	海岸漂着プラスチックゴミに対する地元投棄ゴミと河川の影響

一般発表プログラム(ポスター発表) 7月11日(水)・12日(木)

F 会場(真珠の間)

コアタイム : 15:30~16:45 P-奇数番号

コアタイム : 16:45~18:00 P-偶数番号

震災関連および放射性・毒性・微量元素

21pr0127	P-001	○張野宏也, 八束絵美, 山尾千晶(神戸女学院大), 横山勝英(首都大東京), 吉永郁生(京都大院), 福田秀樹, 永田 俊, 大竹二雄(東京大), 池田正明(金陵電機), 田中克(国際高等研)	三陸沿岸域における船底防汚物質および有機リン化合物の濃度
21pr0132	P-002	○平田和沙(佐賀大院・農), 上野大介, 井上興一, 染谷 孝(佐賀大・農), 宮脇 崇(福岡県保環研), 中田晴彦(熊本大院・自然), 大窪 かおり(佐賀県衛薬セ), 松村 徹(いであ), 中村昌文(日吉), 滝埜昌彦(アジレント・テクノロジー), 中島晋也(西川計測), 東房健一(新川電機), 仲井邦彦(東北大院・医)	東日本大震災によってもたらされた津波堆積物に含まれる有機汚染物質の検索
21pr0137	P-003	○吉原忠志, 都竹克昭(近畿建設協・水質研)	日本各地の食品(コメ)中の放射性物質の現状
21pr0146	P-004	○井上達央, 五百住 優太, 西岡 洋, 小舟正文(兵庫大院・工)	無機廃棄物から合成した吸着材によるセシウムイオンの除去性能
21pr0197	P-005	○白石 不二雄, 中島大介, 中山祥嗣, 鈴木 剛, 滝上英孝, 新田裕史(国環研), 郷右近 順子, 赤崎 千香子(宮城保環セ), 影山志保(郡山女大), 後藤純雄(麻布大), 白石寛明(国環研)	in vitro バイオアッセイによる震災がれき一次集積場付近環境水のモニタリング
21pr0324	P-006	○中野 かずみ, 鹿籠康行, 杉山尚樹, 角田 紳一郎(アジレント・テクノロジー)	トリプル四重極 ICP-MS を用いた放射性ヨウ素 129 の高感度分析
21pr0357	P-007	○殷 熙洙(農環研), 福井博章(東京シンコール), 馬場浩司(農環研)	水中のセシウムイオン除去のためのプルシアンブルー/活性炭吸着の評価
21pr0381	P-008	○古川浩司(三重県環境保全事業団)	ゲルマニウム半導体検出器による放射能測定値のばらつきについて
21pr0092	P-009	○Duong Thi Hanh, 押川麻衣(北九市大・国環工), Nguyen Quang Trung(VAST-IET), 門上 希和夫(北九市大・国環工)	Occurrence of heavy metals in Vietnamese Rivers
21pr0099	P-010	○磯田豊孝(熊本県大院・環共), 篠原亮太(熊本県大院)	コンポストにおける重金属の化学形態の解析
21pr0105	P-011	○杉田和俊(三菱化学アナリテック), 稲葉洋平, 内山茂久(国立保健医療科学院), 後藤純雄(麻布大), 樺田尚樹(国立保健医療科学院)	たばこ主流煙中の重金属類の測定
21pr0232	P-012	○阿草哲郎(愛媛大・沿環研セ), 滝上英孝, 藤森 崇(国環研), 江口哲史(媛大・沿環研セ), 戸次 加奈江(金沢大), 吉田 綾, 寺園 淳(国環研), Florencio C. Ballesteros Jr. (University of the Philippines), Keshav A. Bulbule (Nijalingappa College), Peethmbaram Parthasaraty (E-Parisaraa), 高橋 真, Annamalai Subramanian, 岩田久人, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	インドおよびフィリピンの e-waste リサイクル労働者における微量元素曝露の実態

21pr0376	P-013	○伴 聡美, 鹿島勇治(日環セ)	キレート樹脂を用いた固相抽出における銅ブランク値低減の検討
相互検定・標準物質およびダイオキシン・POPs 分析技術			
21pr0005	P-014	○濱田典明(三浦工業), 林 篤宏(島津テクノロジー), 杉田和俊(三菱化学アナリティック), 福沢栄太(日本食品分析センター), 黒岩 猛(九州テクノロジー), 宮崎 徹(ニッテクリサーチ), 岡野隆志(JFEテクノロジー), 船越康嗣(川重テクノロジー), 松村 徹(いであ)	絶縁油中 PCB 分析に関するクロスチェック
21pr0035	P-015	○佐野友春, 高木博夫, 宇加地 幸, 永野公代, 大西薫(国環研), 森 育子(東京都環科研), 西川雅高(国環研)	新環境標準物質 NIESCRMNo.29「ホテアオイ」の開発と応用
21pr0089	P-016	○西川雅高, 佐野友春, 宇加地 幸, 永野公代, 大西薫(国環研), D.Batdorj(IMHE), 松井一郎(国環研), 森 育子(東京都環科研)	新環境標準物質 NIESCRMNO.30「ゴビ黄砂」の開発
21pr0090	P-017	○佐野友春, 高木博夫, 宇加地 幸, 永野公代, 大西薫, 西川雅高(国環研)	新環境標準物質 NIESCRMNo.10-d「玄米粉末」の開発
21pr0150	P-018	Manahan Fernandez Alonso, 田畑 日出男, Jan Soers, Luc H.A. Scholtis, Gib McIntee, Jorge Oliver-Rodesen, 濱地光男, ○松村 徹, 橋場常雄, 村上雅志, 関口和弘, 吉田幸弘, 柳沢雅明, 福田俊一(国際民間試験所連合[UILL])	国際民間試験所連合(UILL)国際技能試験の結果 - 第4回 水中の重金属-
21pr0152	P-019	Manahan Fernandez Alonso, 田畑 日出男, Jan Soers, Luc H.A. Scholtis, Gib McIntee, Jorge Oliver-Rodesen, 濱地光男, ○松村 徹, 橋場常雄, 村上雅志, 関口和弘, 吉田幸弘, 柳沢雅明, 福田俊一(国際民間試験所連合[UILL])	国際民間試験所連合(UILL)国際技能試験の結果 - 第5回 天然水中の陽イオン及び陰イオン-
21pr0297	P-020	○梶原淳睦(福岡県保環研), 戸高 尊(九州大院・医), 平川博仙, 宮脇 崇, 平田輝昭(福岡県保環研), 岸 玲子(北海道大院・医), 古江増隆(九州大院・医)	血液中 PCB 類濃度のクロスチェック
21pr0416	P-021	○宮田秀明, 會田宏彰, 半田洋士, 見塚尚美, 河原崎宏俊, 寺井勝公, 片山政志, 馬場啓之, 藤峰慶徳, 坂井秀之, 中嶋茂樹, 渡邊栄孝, 内藤清吉, 小林秀樹, 濱田敏己(微量化学物質測定精度向上委員会)	微量PCBのクロスチェック分析結果に関する考察
21pr0014	P-022	○宮崎 徹(ニッテクリサーチ), 黒岩 猛(九州テクノロジー), 船越康嗣(川重テクノロジー), 岡野隆志(JFEテクノロジー), 松村 徹(いであ)	ダイオキシン類分析の試験所間比較試験(第9回 2011年度 日環協 UTA 研)
21pr0323	P-023	○上田祐子, 洪 章瑚, 渡邊 功, 本田克久(愛媛大・農)	エージェントオレンジ由来ダイオキシン汚染土壌の簡易迅速測定法 I.超音波抽出法及び半自動精製法
21pr0374	P-024	○立石典生, 高木陽子(京都電子), 上田祐子, 洪 章瑚, 渡邊 功(愛媛大・農), 小林典裕(神戸薬大), 本田克久(愛媛大・農)	エージェントオレンジ由来ダイオキシン汚染土壌の簡易迅速測定法 II ~フロー式イムノセンサー(KinExA)による分析法~
21pr0303	P-025	○中村昌文, 半田洋士(日吉), 立石典生, 高木陽子(京都電子), 上田祐子, 洪 章瑚, 渡邊 功, 本田克久(愛媛大・農)	エージェントオレンジ由来ダイオキシン汚染土壌の簡易迅速測定法 III.途上国向けケイラックスアッセイ法

21pr0372	P-026	○俵 健二, 伊藤耕二, 高橋玄太, 山村 正(ひょうご環境創造協), 中野 武(大阪大)	大容量捕集装置で採取した水質試料中のダイオキシン類抽出における諸問題
21pr0407	P-027	○榎本剛司, 沖本美帆, 八幡行記(日本電子)	ダイオキシン類の測定におけるキャリブレーションS TDについて
21pr0421	P-028	○中野 武(大阪大), 先山孝則(大阪市環科研)	クロルビリフオスの熱分解菌生物
21pr0071	P-029	○宮脇 崇(福岡県保環研), 宮脇俊文(ジャスコ), 上野大介(佐賀大・農), 中田晴彦(熊本大・理), 松村 徹(いであ), 中村昌文(日吉), 仲井邦彦(東北大・医)	GC/MS データベース法による土壌および底質中有機汚染物質の網羅的分析ー GC-TOF/MS による同定精度の検証 ー
21pr0159	P-030	○河野公栄, 高橋里菜, 松田宗明, 森田昌敏(愛媛大・農)	ガスクロマトグラフ保持時間と化学構造/物理化学的パラメーターを用いた多変量解析法による水酸化PCBs(HO-PCBs)化学構造の推定
21pr0217	P-031	○伴 創一郎, 並川幹夫, 折戸太一, 伴栞行則, 川上雅弘(京都市環境研究所), 立石典生, 高木陽子(京都電子)	フロー式イムノセンサーの魚介類中 PCB 分析への適用
21pr0239	P-032	○家田曜世, 落合伸夫(ゲステル), 石井啓介, 小野寺 潤(日本電子), 磯部友彦, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ), 山田 格, 田島 木綿子(国立科博)	GCxGC-高分解能 TOF-MS を用いた有機ハロゲン化合物の分析における Field Ionization(FI)法の検討
21pr0245	P-033	○江口哲史, 野見山 桂(愛媛大・沿環研セ), 中川勝博, 田中幸樹, 宮川治彦(島津製作所), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	GC-ECNI/MS による生体試料中の水酸化 PCB 一斉分析法の開発
21pr0260	P-034	○藤田寛之(愛媛大・農), 濱田典明(三浦工業)	自動前処理装置を用いた POPs 分析法
21pr0313	P-035	○沖本美帆, 榎本剛司(日本電子), 上瀧智巳 (エスアールエル), 小林美佳(日本電子), 森 千里(千葉大・医)	GC/NICI-MS による血清中 PCB の分析方法の検討
21pr0360	P-036	○堀井勇一, 野尻喜好, 大塚宜寿(埼玉県環科国際セ), 大浦 健(名城大), 三宅祐一(静岡県大)	飛行時間型 GC/MS を用いる焼却排ガス中ハロゲン化芳香族群の検索
21pr0198	P-037	○落合伸夫, 家田曜世, 笹本 喜久男(ゲステル), 高澤嘉一, 橋本俊次, 伏見暁洋, 田邊 潔(国環研)	スターバー抽出ーGCxGCー高分解能 TOF-MS による 河川水中の POPs 及びその他有機微量汚染物質の分析
21pr0410	P-038	○高澤嘉一, 橋本俊次, 伏見暁洋, 田邊 潔, 柴田康行(国環研)	加熱脱着による大気中 POPs の一斉定量
21pr0069	P-230	○宮脇 崇, 飛石和夫, 黒川陽一(福岡県保環研)	緊急時土壌汚染調査用の迅速分析法の開発
ダイオキシン・PAHs の環境・生体レベル			
21pr0037	P-039	黄 俊(清華大), ○山崎教正(中持依迪亜, いであ), 江 偉(中持依迪亜), 余 剛(清華大), 松村 徹(いであ, 中持依迪亜)	中国南西部湖沼の底質コアと表層水中のダイオキシン類濃度
21pr0110	P-040	○嵯峨 俊太郎, 原田知佳, 松田宗明, 森田昌敏, 河野公栄(愛媛大・農)	作業環境周辺の底泥における臭素化ダイオキシン及び臭素系難燃剤の測定
21pr0210	P-041	○染矢雅之, 鈴木 剛(国環研), 野見山 桂, 江口哲史, 後藤哲智(愛媛大・沿環研セ), 滝上英孝(国環研), 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	日本沿岸の二枚貝における有機ハロゲン化合物汚染の実態解明とリスク評価
21pr0356	P-042	○大塚宜寿, 蓑毛 康太郎, 野尻喜好(埼玉県環科国際セ)	継続的な大気中ダイオキシン類の調査と汚染原因の解析
21pr0361	P-043	○堀井勇一, 大塚宜寿, 蓑毛 康太郎, 野尻喜好(埼玉県環科国際セ)	カオリン質粘土の窯業利用に伴うダイオキシン類の動態と環境負荷量推定

21pr0393	P-044	○山口勝透(北海道総研環境セ), 久保溪女(北海道大院・環境), 石名坂豪(知床財団), 三橋正基(北海道総研釧水試), 服部 薫(水総研北水研), 田中俊逸(北海道大院・環)	北海道沿岸海域で採捕されたトドの肝臓及び皮下脂肪におけるダイオキシン類濃度とその組成
21pr0398	P-045	○永洞 真一郎, 姉崎克典(北海道総研環科研セ), 中島大介, 白石 不二雄(国環研)	大気中における燃焼起源マーカー物質の分析
21pr0020	P-046	○齊藤祥一, 熊田英峰, 青木元秀, 藤原 祺多夫(東京薬大・生命)	多様な環境マトリックスからの PAH 単離方法の検討
21pr0212	P-047	○宮原裕一, 松尾 悠太郎(信州大), 池盛文数(名古屋市環科研), 中島大介, 白石 不二雄(国環研)	長野県上高地および諏訪におけるエアロゾル成分の季節変動
21pr0215	P-048	○宮原裕一, 山田智哉, 山本雅道(信州大)	八ヶ岳における化学物質沈着の季節変動
21pr0269	P-049	○武田 まなみ, 佐藤 睦, 鈴木智志, 林田寛司, 菅田佳孝(ジーエルサイエンス), 田中幸樹, 宮川治彦, 近藤友明, 中川勝博(島津製作所), 倉野光弘(ATAS GL)	モノリス型固相(MonoTrap)を使用した水中微量物質分析のための基礎検討
21pr0276	P-050	○榎澤理奈, 高田秀重(東京農工大), 中島典之(東京大), 内田昌男(国環研), 熊田英峰(東京薬大), 奥田知明(慶應義塾大), Mahua Saha(東京農工大)	アジア 5 都市における大気エアロゾルの多環芳香族炭化水素による汚染状況の把握と起源推定
21pr0284	P-051	○木口 倫, 小沼勝仁, 佐藤 剛(秋田県大・生資) 小林貴司(秋田県健康セ)	秋田県の山岳地における表層積雪中の多環芳香族炭化水素類とその誘導体の同定
21pr0344	P-052	○三宅祐一(静岡県大・環境), 唐 亮(静岡県大院・生活健康), 堀井勇一, 野尻喜好, 大塚宜寿(埼玉県環科国際セ), 雨谷敬史(静岡県大・環境)	廃棄物焼却施設からのハロゲン化多環芳香族炭化水素類の排出傾向
21pr0345	P-053	○栗林知徳, 三小田 憲史, 篠原亮太(熊本県大院・環共)	道路上堆積物および沿岸底質中塩素化多環芳香族炭化水素の分析
21pr0404	P-054	○亀田貴之, 安積愛理, 福島杏希(金沢大院・医薬保), 唐 寧(兵庫医大), 松木 篤(金沢大・環日セ), 小林茉緒(金沢大・薬), 鳥羽 陽, 早川和一(金沢大院・医薬保)	黄砂粒子表面における多環芳香族炭化水素誘導体の二次生成
ハロゲン系難燃剤および PPCPs・環境ホルモン			
21pr0176	P-055	○柿本健作, 永吉晴奈, 山口貴弘, 吉田 仁, 安達史恵, 高木総吉, 小西良昌(大阪府公衛研)	食用魚中の塩素系難燃剤デクロラン・プラス
21pr0193	P-056	○市原 真紀子, 山本敦史(大阪市環科研)	水環境中における臭素系難燃剤ヘキサブロモシクロドデカン(HBCD)の分析
21pr0203	P-057	○先山孝則(大阪市環科研), 中野 武(大阪大院・工)	環境中の塩素系難燃剤 Dechlorane Plus について (2)底質の濃度と異性体組成
21pr0208	P-058	○小西良昌, 柿本健作, 永吉晴奈, 山口貴弘, 吉田 仁, 安達史恵, 高木総吉(大阪府公衛研)	塩素系難燃剤デクロラン・プラスによる母乳汚染実態
21pr0218	P-059	○茨木 剛, 四柳宏基, 土屋 江理子, 小澤秋男, 旗本尚樹, 村山 等(新潟県保環研)	GC/TOFMS を用いた環境試料中の臭素系難燃剤(PBDEs)の分析
	P-060	(講演キャンセル)	
21pr0302	P-061	○長谷川 瞳, 渡辺正敏(名古屋市環科セ), 鈴木 茂(中部大院)	名古屋市域におけるヘキサブロモシクロドデカンの生物試料および母乳中等の濃度レベル
21pr0337	P-062	○渡邊清彦, 八十島 誠, 山下道子, 高菅卓三(島津テクニサーチ)	ハイボリュームエアサンプラーを用いたヘキサブロモシクロドデカン(HBCD)採取法について
21pr0382	P-063	○田中厚資, 高田秀重, 山下 麗(東京農工大), 綿貫豊(北海道大)	摂食プラスチックから海鳥への PBDEs の移行

21pr0392	P-064	○松本 幸一郎, 小田嶋 優子, 鹿島勇治(日環セ), 先山孝則(大阪市環科研), 中野 武(大阪大院・工)	Dechlorane Plusの磁場型及び四重極型MSによる検討
21pr0399	P-065	○今枝大輔(いであ), 中山祥司, 柴田康行, 橋本俊次(国環研), 田中和徳(シグマアルドリッチジャパン)	エコチル調査における分析項目 -日本人の血中PBDE 異性体の選定-
21pr0401	P-066	○水川薫子(東京農工大・環境), 櫻井健郎, 伊藤希, 鈴木規之(国環研)	ポリ臭素化ジフェニルエーテル(PBDEs)の代謝特性
21pr0406	P-067	○近藤友明, 田中幸樹, 坂本雄紀, 中川勝博, 宮川治彦(島津製作所)	四重極GC-MSによる底質中臭素化ジフェニルエーテル類分析法の検討
21pr0057	P-068	○大窪 かおり, 草場潤一, 八ヶ代 一郎, 北島淳二, 古川義朗(佐賀県衛薬セ)	医薬品データベースによる河川水のプロファイリング
21pr0074	P-069	○伊藤誠治, 中田文弥(東ソー)	環境水中の高極性化合物のLC-MS/MSによる分析検討
21pr0162	P-070	○Yuji Aita (AB SCIEX, Tokyo, Japan), André Schreiber (AB SCIEX, Concord, ON, Canada), Rolf Kern (AB SCIEX, Foster City, CA, USA), Nadia Pace (AB SCIEX, Concord, ON, Canada)	LC-MS/MSを用いた水中環境汚染物質 PPCP の定量とスクリーニング
21pr0247	P-071	○山崎映明, 鍵 紀子, 宮脇俊文, 垣見英登(ジャスコインタナショナル)	SPE-LC/MSによる牛乳中のエストロゲンの測定
21pr0266	P-072	○高木麻衣, 高澤嘉一, 橋本俊次, 田邊 潔, 柴田康行(国環研)	LCTOFMS による尿中抱合体の一斉検索法に関する検討
21pr0067	P-073	○河上強志, 伊佐間 和郎, 神野透人, 西村哲治(国立衛研)	モデルPVCシートを用いた皮膚表面への可塑剤移行量の検討
21pr0158	P-074	○Bai Wenzhi(長崎大・環境), 山城詩織(長崎大・水産・環境), 桑原和子(長崎大・環境), 山中潤二(長崎大・水産・環境), 久保 隆(長崎大・産学官連携), 長江真樹(長崎大・環境), 有菌幸司(熊本県大・環共), 高尾雄二(長崎大・環境)	北海道南西部の漁港底質中に含まれる有機スズ化合物の濃度レベル
21pr0171	P-075	○中村遙菜(熊本県大院・環共), 南木宏美(熊本県大・環共), 田上瑠美, 佐藤有里, 篠原亮太(熊本県大院・環共)	下水処理水放流域に生息するフナ (<i>Carassius sp.</i>) 中に残留する医薬品
21pr0248	P-076	○佐藤 剛(秋田県大院・生資), 小沼勝仁(秋田県大, 生資), 小林貴司(秋田県健環セ), 木口 倫(秋田県大・生資)	秋田市の旭川における河川水中のトリクロサンの存在実態
21pr0252	P-077	○高沢麻里, 鈴木 茂(中部大・応生)	ヘアカラーに含まれる化学物質の暴露および排泄に関する研究
21pr0271	P-078	○木村 久美子, 渡部茂和(さいたま市健科研セ), 亀田 豊(千葉工大), 中田典秀(京都大院・工), 山本裕史(徳島大院・SAS 研), 益永茂樹(横浜国大院・環情)	都市河川における水中および底質中の防腐剤 12種の存在実態
21pr0296	P-079	○成宮正倫, 中田典秀, 山下尚之, 田中宏明(京都市大・流セ)	下水処理場における医薬品類の日内濃度変動把握とサンプリング方法に関する考察
21pr0362	P-080	○中田典秀, Vimal Kumar, 成宮正倫, 花本征也, 田中宏明(京都大流域圏セ), 木村 久美子(さいたま市), 亀田 豊(千葉工大・工), 山本裕史(徳島大院・SAS 研)	下水道普及率と医薬品類および界面活性剤 LAS の河川での検出挙動の比較
21pr0363	P-081	○田代 豊(名桜大・国際), 亀田 豊(千葉工大・工)	沖縄の海水浴場とサンゴ礁における紫外線吸収剤、紫外線安定剤の海水中濃度

VOCs 分析技術・環境レベル			
21pr0029	P-082	○西島宏和(シグマ アルドリッチ)	固相マイクロ抽出法を用いた水試料中のカビ臭分析の検証
21pr0058	P-083	○西島宏和, 金子敏郎(シグマ アルドリッチ)	BPE-DNPH 捕集管を用いた大気中のオゾンとカルボニル化合物の同時測定
21pr0107	P-084	○吉田 勤(札幌市衛研)	LC-MS/MS による大気中のアルデヒド・ケトン類の分析及び実態調査
21pr0119	P-085	○中村貞夫(アジレント・テクノロジー), 土屋敦裕(西川計測)	加熱脱着 GC/MS による有害大気汚染物質の分析
21pr0139	P-086	○山上 仰, 小野 由紀子, 小川義謙, 中島晋也(西川計測), 東房健一(新川電機)	ソフトウェアによる GC/MS のシステム評価について
21pr0154	P-087	○石坂閣啓(三浦工業), 川嶋文人(愛媛大・農)	揮発性有機化合物暴露試験によるパッシブサンプラーのサンプリングレート算出
21pr0181	P-088	○小川千春, 小林貴司(秋田県健康セ), 木口 倫(秋田県大)	ヘッドスペース-GC/MS 法による水中 1,4-ジオキサン分析方法の検討
21pr0209	P-089	○渡辺靖二(環境調査研修所), 鈴木 明, 宮林武司(GL サイエンス)	キャニスター捕集-ガスクロマトグラフ質量分析法による有害大気汚染物質一斉分析条件の検討
21pr0270	P-090	○田中幸樹, 宮川治彦, 近藤友明, 中川勝博(島津製作所), 石井一行, 衛藤義文, 林田寛司, 馬場紀幸(ジェーエルサイエンス)	パーティ・トラップ-GC/MS による水中 VOCs の高感度・高速分析における最適化
21pr0316	P-091	丸尾容子(NTT・環エ研), ○河上由行(神栄テクノロジー)	繊維製品から発せられるホルムアルデヒドのスクリーニング方法
21pr0349	P-092	○山本周作(大阪工大院・環境), 渡辺信久(大阪工大)	Tenax TA-Carboxen569 と arbotrapC-CarbotrapB-Carboxen569 の吸着捕集範囲の比較
21pr0379	P-093	○富澤卓弥(東京薬大院), 内山茂久, 稲葉洋平(国立保健医療科学院), 太田敏博(東京薬大院), 樺田尚樹(国立保健医療科学院)	活性炭に捕集した空气中揮発性有機化合物のヘッドスペース/ガスクロマトグラフ法による分析
21pr0384	P-094	○太田和司(千葉大院), 内山茂久, 稲葉洋平(国立保健医療科学院), 中込秀樹(千葉大院), 樺田尚樹(国立保健医療科学院)	たばこ主流煙に含まれるカルボニル化合物の DNPH 誘導体化法による分析
21pr0388	P-095	○内山茂久, 稲葉洋平, 樺田尚樹(国立保健医療科学院)	ピリジン-2-アルデヒド及び trans-1,2-ビス(2-ピリジル)エチレンを用いた大気中ヒドラジン類の分析
21pr0386	P-096	○菱木麻佑(麻布大), 内山茂久, 稲葉洋平(国立保健医療科学院), 後藤純雄(麻布大), 樺田尚樹(国立保健医療科学院)	空气中カルボニル化合物の捕集時における各種オゾンスクラバーの検討
21pr0373	P-097	○所 翌萌(千葉大院), 内山茂久, 稲葉洋平(国立保健医療科学院), 足立 眞理子, 中込秀樹(千葉大院), 樺田尚樹(国立保健医療科学院)	木材表面から放散するアルデヒド類の測定と低減化
21pr0378	P-098	○黒木祥文(ヴェオリアウォーターS&T)	微量有機物分析用超純水の汚染が LC/MS、GC/MS 分析に与える影響
21pr0425	P-099	○阿部由克(ひょうご環境創造協), 岡田泰史(神戸大), 金谷 智(ひょうご環境創造協), 井上嘉則(日本ファルコン), 中野 武(大阪大)	各種吸着剤と焼結体ホルダーを用いたパッシブサンプラーの試作
PCBs・POPs の環境レベルと顔料中不純物			
21pr0147	P-100	○西山達也, 梶 拓也, 柳原有希, 松田宗明, 森田昌敏, 河野公栄(愛媛大・農)	東アジア地域における残留性有機汚染物質(POPs)の長距離輸送による我が国への越境汚染

21pr0156	P-101	○鶴川正寛, 羽賀雄紀(兵庫県環研セ), 鈴木元治(兵庫県水大気課), 奥野俊博, 矢本善也, 松村千里(兵庫県環研セ), 中野 武(大阪大), 功刀正行(東京理科大)	日本周辺海域における POPs の汚染特性の把握(2)
21pr0186	P-102	○清家伸康, 大谷 卓(農環研)	ウリ科野菜における POPs 汚染度診断法の開発 VI. カボチャ葉および果実中へブタクロル類濃度の関係
21pr0202	P-103	○山本 徹, 半野勝正, 清水 明, 吉澤 正(千葉県環境セ)	千葉県における大気環境中 PCBs 濃度について
21pr0236	P-104	並木 小百合(筑波大), ○大谷 卓, 清家伸康(農環研)	土壌中 POPs の各種植物における吸収・移行性
21pr0282	P-105	○吉岡沙恵, 高田秀重, 山下 麗(東京農工大), 綿貫豊(北海道大・水産)	渡りの経路と脂肪酸による食性指標を組み合わせたハシボソミズナギトリの POPs 蓄積機構の推定
21pr0341	P-106	○高菅卓三, 山下道子, 嶽盛公昭, 木邑奈美(島津テクニサーチ), 柴田康行(国環研)	大気試料の POPs 測定におけるアクティブ採取とパッシブ採取法の詳細比較評価
21pr0389	P-107	○姉崎克典, 永洞 真一郎(北海道環科研セ)	北海道室蘭港におけるダイオキシン類、PCBs 及びクロロベンゼンの濃度分布
21pr0394	P-108	○今川 渉, 後藤哲智(愛媛大・沿環研セ), 長谷川 和範, 窪寺恒己(国立科博・動物), 高橋 真, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	日本海の深海性魚類における有機ハロゲン化合物の汚染実態と分布特徴
21pr0182	P-109	○高橋玄太, 伊藤耕二, 俵 健二, 山村 正(ひょうご環境創造協), 姉崎克典(北海道環科研セ), 中野 武(大阪大)	有機顔料中に副生するPCBの分析法に関する検討について
21pr0257	P-110	○高橋知史, 濱田典明(三浦工業)	有機顔料中 PCB の分析方法
21pr0306	P-111	○伊藤史歩, 宮崎光代, 柳 俊彦, 福沢栄太, 飯塚 誠一郎, 中村宗知(日本食品分析センター)	有機顔料中の PCB 測定法の基礎検討
21pr0390	P-112	○姉崎克典(北海道環境セ), 高橋玄太, 俵 健二(ひょうご環境創造協), 中野 武(大阪大)	顔料中の非意図的生成 POPs
LC-MS・その他機器分析技術と新規環境汚染物質			
21pr0006	P-113	○月岡 忠, 瀧内千尋, 内田成人, 佐塚直孝, 北條敏彦(エスコ)	LC/MS/MS による靱及び藁中の除草剤ベンタゾンの定量
21pr0018	P-114	○津田泰三, 卯田 隆, 坪田 てるみ, 瀧野昭彦, 田中勝実, 居川俊弘(滋賀県琵琶環セ)	琵琶湖水における除草剤濃度の経年推移
21pr0042	P-115	田中優佳, ○安原昭夫(東京理科大), 柴本崇行(UC Davis)	飲み物中に含まれる 4(5)-メチルイミダゾールの分析
21pr0101	P-116	○大西雅之(住化分析セ)	アゾ染料・顔料から生成する特定アミン類の定量分析
21pr0103	P-117	○江原 均, 西村和彦, 青木和昭, 小塚義昭(川崎市公害研)	環境大気中アクリルアミドの分析法開発と川崎市における環境調査
21pr0106	P-118	○生田 早(滋賀県大院・環境), 須戸 幹(滋賀県大・環境), 那須 誠(滋賀県大院・環境)	一筆水田からの除草剤流出特性と要因の解析
21pr0126	P-119	○米久保 淳, 佐藤信武(ウォーターズ)	LC(/MS)による水道水中の有害物質の測定
21pr0151	P-120	○小林貴司, 松渕 亜希子, 松田 恵理子(秋田県健康セ), 菅原冬樹, 阿部 実(秋田県農林水産技術セ, 森林技術セ)	マツ林に散布されたネオニコチノイド系農薬の挙動
21pr0175	P-121	○四ノ宮 美保, 岩切良次, 渡辺靖二(環境調査研修所)	LC-MS/MS による河川水中ゴルフ場農薬の一斉分析

21pr0216	P-122	○原口達彦, 近藤靖高, 松田宗明, 森田昌敏, 河野公栄(愛媛大・農)	環境水中におけるネオニコチノイド系農薬
21pr0249	P-123	○松本 幸一郎, 佐々木 秀輝, 庄司 貴, 小田嶋 優子, 鹿島勇治(日環セ)	環境水中 2,4-ジクロロフェノールの GC/MS 法及び LC/MS/MS 法による比較検討
21pr0272	P-124	○石井一行, 衛藤義文, 林田寛司, 馬場紀幸(ジーエルサイエンス), 田中幸樹, 宮川治彦, 近藤友明, 中川勝博(島津製作所)	パーティ・トラップ-GC/MS による水中臭気物質の高感度分析手法の検討
21pr0310	P-125	○飛石和太, 田中義人, 熊谷博史, 村田 さつき(福岡県保環研), 佐野友春, 永野公代, 高木博夫, 西川雅高(国環研), 彼谷邦光(筑波大), 西村哲治(帝京平成大)	LC/MS/MS によるマイクロシスチン類のモニタリング法
21pr0311	P-126	○小嶋康亮, 鈴木 茂(中部大・応生)	ウレタン塗装工場作業環境及び周辺大気中の 4,4-ジアミノジフェニルメタンの分析
21pr0317	P-127	○塚本多矩, 小林 まなみ, 八巻 聡(島津製作所)	トリプル四重極型 LC/MS/MS を用いたハロ酢酸類の分析
21pr0319	P-128	○安達史恵, 高木総吉, 吉田 仁(大阪府公衛研)	大阪府内河川における過塩素酸イオンの実態調査
21pr0336	P-129	○大野正貴(新潟薬大・応用生命), 今泉圭隆, 白石不二雄, 芹澤滋子(国環研), 永井千尋, 小瀬知洋, 川田邦明(新潟薬大・応用生命)	能代川における表流水中の殺菌剤と殺虫剤濃度変動
21pr0358	P-130	吉田 伸一郎, 青井貴弘, ○熊田英峰, 青木元秀, 藤原 祺多夫(東京薬大院・生命)	HPLC/MS/MS を用いた土壤中リン脂質の一斉分析: 千葉県銚子市農地でのケーススタディー
21pr0369	P-131	○小林憲弘(国立衛研), 塚本多矩(島津製作所), 田原 麻衣子, 久保田 領志, 杉本直樹, 五十嵐 良明(国立衛研)	水道における水質管理目標設定項目の候補農薬の LC/MS/MS 一斉分析法の開発
21pr0370	P-132	○鈴木幸治, 田中佑佳, 寺島弘之, 橋本淳一, 藤原宏之, 大森正浩, 林田寛司, 牧 重明, 佐藤 睦(ジーエルサイエンス)	水中農薬分析に向けた低吸着 HPLC カラムの開発- 2-医薬品の高感度分析への応用
21pr0387	P-133	○松本恵子, 渡辺 淳, 柚木山 学, 飯田順子(島津製作所), 矢澤 到(インタクト)	超高速 LC-MS/MS と 1mm 内径カラムを用いた陰イオン界面活性剤の高速分析
21pr0221	P-134	○折原智明(札幌市衛研), ○伊藤朋子, 佐々木 和明, ○清水 明(千葉県環研セ), 長谷川 瞳, 平生進吾(名古屋市環科セ), 長谷川 敦子(神奈川県環科セ), 鈴木 茂(中部大), 上堀 美知子(大阪府立環農総研), 八木正博, 山路 章, (神戸市環保研), 鶴川正寛(兵庫県環研セ), 大月史彦, 浦山豊弘(岡山県環保セ), 飛石和太, 塚谷裕子(福岡県保環研)	LC/MS による化学物質分析法の基礎的研究(52)
21pr0235	P-135	○長谷川 敦子(神奈川県環科セ), ○鈴木 茂(中部大), ○上堀 美知子(大阪府立環農総研), ○長谷川 瞳, 平生進吾(名古屋市環科セ), 折原智明(札幌市衛研), 伊藤朋子, 佐々木 和明(岩手県環保研セ), 清水 明(千葉県環研セ), 八木正博, 山路 章, 鶴川正寛(兵庫県環研セ), 大月史彦, 浦山豊弘(岡山県環保セ), 飛石和太, 塚谷裕子(福岡県保環研)	LC/MS による化学物質分析法の基礎的研究(53)

21pr0251	P-136	○八木正博, ○山路 章, ○鶴川正寛(兵庫県環研セ), 折原智明(札幌市衛研), 伊藤朋子, 佐々木 和明(岩手県環研セ), 清水 明(千葉県環研セ), 長谷川 瞳, 平生進吾(名古屋市環科研), 長谷川 敦子(神奈川県環科セ), 鈴木 茂(中部大), 上堀 美知子(大阪府立環農総研), 大月史彦, 浦山豊弘(岡山県環保セ), 飛石和大, 塚谷裕子(福岡県環研)	LC/MSによる化学物質分析法の基礎的研究(54)
21pr0265	P-137	○大月史彦, ○浦山豊弘(岡山県環保セ), ○飛石和大, ○塚谷裕子(福岡県環研), 折原智明(札幌市衛研), 伊藤朋子, 佐々木 和明(岩手県環研セ), 清水 明(千葉県環研セ), 長谷川 敦子(神奈川県環科セ), 長谷川 瞳, 平生進吾(名古屋市環科セ), 鈴木 茂(中部大), 上堀 美知子(大阪府環農総研), 八木正博(神戸市環研), 山路 章(神戸市環保研), 鶴川正寛(兵庫県環研セ)	LC/MSによる化学物質分析法の基礎的研究(55)
21pr0002	P-138	○柴田慶子, 塩谷健二, 柳沢伸浩(いすゞ中研)	ディーゼル排気粒子有機可溶成分(SOF)中の未燃燃料および潤滑油寄与率評価方法の基礎的検討
21pr0008	P-139	○篠原悠太, 北山智也, 沼田 靖, 田中裕之(日大・工)	低波数領域における含水アルコールのラマン分光定量分析
21pr0010	P-140	○北山智也, 篠原悠太, 沼田 靖, 田中裕之(日大・工)	ラマン分光法を用いた混合ガスの定量分析法の開発
21pr0211	P-141	○千葉倫敬, 山内 亜希子, 平野和恵, 渡邊淳也(愛媛県衛生環境研究所)	瀬戸内海の難分解性有機化合物について
21pr0288	P-142	○百島亜紀, 福田真博, 上田守男, 川村秀久, 仲島賢(九環協)	軽油中のシリコン分析
21pr0289	P-143	○福田真博, 上田守男, 川村秀久, 仲島 賢(九環協), 岡村正紀(九環総研)	揮発性助燃剤成分の組成変化 その2
21pr0375	P-144	○細川 歩, 宮原絵美, 天日美薫, 川村秀久, 仲島 賢(九環協)	環境水中の難分解性有機物の分画試験
21pr0391	P-145	○大久保 忠利, 稲葉洋平, 内山茂久, 緒方裕光(国立保健医療科学院), 鈴木 元(国際医療福祉大), 樺田尚樹(国立保健医療科学院)	個人輸入たばこの化学分析
21pr0412	P-146	○稲葉洋平, 大久保 忠利, 内山茂久, 樺田尚樹(国立保健医療科学院)	メンソールたばこ主流煙の化学分析
21pr0417	P-147	○宇津木 里香(東京薬大), 稲葉洋平, 内山茂久(国立保健医療科学院), 太田敏博(東京薬大), 樺田尚樹(国立保健医療科学院)	固体捕集法を用いた嗅ぎたばこのガス成分の測定
環境・生体・廃棄物中の有機フッ素化合物と曝露評価			
21pr0027	P-148	○栗原正憲, 吉澤 正(千葉環境セ)	廃棄物中の有機フッ素化合物の溶出挙動
21pr0052	P-149	○羽成修康(産総研), 金澤三紀(東京久栄), 山下信義, 伊藤信靖, 沼田雅彦(産総研)	工業製品中のペルフルオロオクタンスルホン酸及びペルフルオロオクタン酸分析における抽出条件の比較検討
21pr0188	P-150	○茂木 守, 野尻喜好, 堀井勇一(埼玉県環科国際セ)	製品中のPFOS, PFOA及びそれらの前駆物質濃度

21pr0273	P-151	杉浦誠一(兵庫県大), ○山本勝也, 竹峰秀祐, 松村千里, 藤森一男(兵庫県環研セ), 高田光康, 渡辺信久(大阪工大), 中野 武(大阪大), 熊谷 哲(兵庫県大)	廃棄物試料中の PFCs の分析方法の検討
21pr0294	P-152	○竹峰秀祐(兵庫県環研セ, 大阪大院・工), 山本勝也, 松村千里, 藤森一男(兵庫県環研セ), 高田光康(国環研), 渡辺信久(大阪工大・工), 中野 武, 近藤明(大阪大院・工)	活性炭中の PFCs の分析方法の検討
21pr0348	P-153	○西岡良太(大阪工大・環境), 高田光康, 宮崎 悟, 渡辺信久(大阪工大)	最終処分場余水処理で使用した活性炭の賦活時における有機フッ素の挙動について
21pr0167	P-154	○Ye Feng(横浜国大・環情), 頭士泰之(国環研), 益永茂樹(横浜国大・環情)	市販製品に含有される残留性機フッ素 化合物(PFCs)の分析
21pr0026	P-155	○居川俊弘, 津田泰三, 卯田 隆, 坪田 てるみ, 瀧野昭彦, 田中勝美(滋賀環研セ)	琵琶湖および周辺河川における有機フッ素化合物濃度の実態把握
21pr0095	P-156	○白石寛明, 芹澤滋子(国環研), 野村幸子(畜安研), 白石 不二雄, 中島大介(国環研), 伊藤雅也(畜安研)	PFOS のウズラ摂餌投与試験における卵への移行に関する研究
21pr0133	P-157	○小川綾子, 吉川昌範, 三木 崇(福井県衛環研セ), 坪川博之	福井県内の河川における有機フッ素化合物の実態について
21pr0141	P-158	○清水 明, 栗原正憲, 吉澤 正(千葉県環境セ)	千葉県公共用水域における有機フッ素化合物の実態
21pr0144	P-159	○西野貴裕, 上野孝司(東京都環科研), 高橋明宏(東京都下水道局), 仲摩翔太, 北野 大(明治大院)	都内地下水、湧水における有機フッ素化合物の実態
21pr0219	P-160	○松田宗明, 杉本和勸, 森田昌敏, 河野公栄(愛媛大・農)	水圏環境中の有機フッ素化合物(PFCs)の分布と挙動
21pr0314	P-161	○今井志保, 川中洋平, 土屋悦輝, 尹 順子(環境管理センター)	都内水道水中における有機フッ素化合物の濃度および組成分布
21pr0334	P-162	○Keerthi Siri Guruge, Leo W. Y. Yeung, Peng Li, Sachi Taniyasu, Nobuyoshi Yamashita(産総研)	Profiles of fluorinated alkyl compounds in wild bird livers from Japan
21pr0405	P-163	○樫野 いく子, 岡田 恵美子(北海道大院・医), 松浦英幸(北海道大院・農), 山本 潤(いであ), 佐々木 成子(北海道大院・医), 宮下 ちひろ(北海道大環境健康科学研究教育セ), 松村 徹(いであ), 岸 玲子(北海道大環境健康科学研究教育セ)	妊婦の血中PFOS/PFOA及び類縁化合物の定量法の確立
21pr0145	P-164	○頭士泰之(国環研), 益永茂樹(横浜国大)	GIS を利用した高解像度での流域汚染予測手法の開発～東京湾流域におけるPFOS, PFOA 汚染を事例として～
21pr0224	P-165	○山口貴弘, 高木総吉, 永吉晴奈, 柿本健作, 吉田仁, 安達史恵, 小西良昌(大阪府公衛研)	大阪府トータルダイエツスタディ試料における有機フッ素化合物の経年推移
21pr0330	P-166	○吉田 仁, 永吉晴奈, 川西優喜, 原島 小夜子, 椎崎一宏, 八木孝司(大阪府大・理), 松田知成(京都大院・流環セ), 高木総吉, 安達史恵, 柿本健作, 山口貴弘, 小西良昌(大阪府公衛研)	酵母レポータージーンアッセイを用いた有機フッ素化合物の核内受容体リガンド活性 の評価
21pr0352	P-167	○櫻井健郎(国環研), 小林 淳(熊本県大), 木下 今日子, 伊藤 希, 今泉圭隆, 鈴木規之, 芹澤滋子, 白石寛明(国環研)	水中から海産底生魚への PFOS の移行動力学的の曝露実験による解析
21pr0364	P-168	○高木総吉, 山口貴弘, 吉田 仁, 安達史恵, 永吉晴奈, 柿本健作, 小西良昌(大阪府公衛研)	大阪府における有機フッ素化合物の人体への曝露評価について

21pr0411	P-169	○岡田 恵美子, 榎野 いく子(北海道大院・医), 松浦英幸(北海道大院・農), 山本 潤(いであ), 佐々木 成子(北海道大院・医), 宮下 ちひろ(北海道大環境健康科学研究教育セ), 松村 徹(いであ), 岸 玲子(北海道大環境健康科学研究教育セ)	北海道における妊婦の血中 PFOS/PFOA および類縁化合物濃度
有害物質処理・環境浄化・資源循環			
21pr0009	P-170	○齋藤 宗一郎, 沼田 靖, 田中裕之(日大工)	クエン酸の過熱蒸気を利用した甲殻類外骨格中のポリペプチドの分解
21pr0011	P-171	松田千英, ○橋本洋平(三重大), 山口紀子(農環研)	ゼロ価鉄資材を添加した水田土壌の Cd の不溶化と化学形態
21pr0024	P-172	○齋藤 徹, 鎌田康平, 大野直紀, 平出正孝(名古屋大院・工)	高分子電解質凝集系において形成される疎水場を用いる水中有機汚染物質の除去
21pr0028	P-173	○墨 泰孝, 國頭 恭(信州大・理), 石川祐一(秋田県大・生物資源), 朴 虎東(信州大・理), 佐藤 強(長野野花試), 長岡一成(中央農研), 相川良雄(東北大院・工, 三菱マテリアル)	アルカリ資材添加に伴う大麦根圏土壌の重金属形態と微生物群集の生理的性質の変化
21pr0054	P-174	○片岡洋行, 山本祐介, 齋藤啓太(就実大・薬)	資源循環型環境浄化を指向した分子認識再生プラスチック吸着剤の開発
21pr0066	P-175	○本橋一真, 関根嗣晃(東海大院・理), 池田四朗(東海大院・地球環境), Thanongsak Nochaiya (Chiang Mai University), 関根嘉香(東海大院・理)	酸化チタンを担持した石英繊維フィルターによる大気エアロゾル粒子の無毒化
21pr0039	P-176	○堀 久男, 坂本峻彦, 田辺貴嗣, 粕谷美有(神奈川大・理)	高温水と金属を用いた過塩素酸イオンの高効率分解
21pr0068	P-177	○栃原義久, 伊藤茂男(電中研)	揮発性有機化合物分解触媒の開発ー有機シリコン化合物の影響把握ー
21pr0082	P-178	○宮田秀明(摂南大), 小沼敏麻, 杉浦裕一(ライフサポート), 阿部浩道, 埴田博史, 瓜生喜章(エコプライズ)	光触媒洗浄水と連続油水分離を利用した微量 PCB 混入廃トランスの新規抜油・洗浄法(第3報)ー廃トランスを用いた実証実験結果ー
21pr0084	P-179	荻野 仁(イオン化学), ○田村健治(首都大産技高専・品川)	イオン半導体および関連技術を基盤とする環境負荷低減技術Ⅰー各種環境適合型製品の開発と応用の概要ー
21pr0085	P-180	荻野 仁(イオン化学), ○田村健治(首都大産技高専・品川)	イオン半導体および関連技術を基盤とする環境負荷低減技術Ⅱー空調あるいは冷凍機・冷蔵機等を指向する消費電力削減システムの開発ー
21pr0086	P-181	○田村健治(首都大産技高専・品川)	安定化次亜塩素酸水を基盤とする防疫対策技術および衛生管理技術の開発と応用
21pr0109	P-182	○金森美季, 若杉美里, 山下啓司(名古屋工大院・工)	金属錯体を用いた新規リン酸吸着剤の開発
21pr0113	P-183	○牧野知之, 赤羽幾子, 前島勇治(農環研), 神谷隆, 高野博幸(太平洋セ)	塩化鉄(Ⅲ)を用いた化学洗浄法によるカドミウム汚染土壌の修復 第9報ー塩化鉄, 塩酸および生分解性キレート資材の適用性比較ー
21pr0114	P-184	○赤羽幾子, 牧野知之, 中村 乾, 加藤英孝(農環研), 関谷尚紀(長野農試)	塩化鉄(Ⅲ)を用いた化学洗浄法によるカドミウム汚染土壌の修復 第10報ー土壌洗浄および資材施用による水溶性 Cd 含量への影響ー
21pr0116	P-185	○加藤英孝, 中村 乾, 赤羽幾子, 牧野知之(農環研)	塩化鉄(Ⅲ)を用いた化学洗浄法によるカドミウム汚染土壌の修復 第11報ー土壌物理性への影響と経年的変化ー

21pr0123	P-186	○三木 崇, 吉川昌範(福井県衛環研セ), 櫻井明彦(福井大)	白色腐朽菌を用いたダイオキシン類低減化に関する研究(第3報)
21pr0134	P-187	森田昌敏, ○徳山崇彦(愛媛県環境創造セ), 平山和子, 宮城雅彦(愛媛県)	みかん搾汁残さを原料としたバイオエタノール効率的製造技術
21pr0160	P-188	○高倉晃人(大阪市環科研), 渡辺信久(大阪工大)	加熱保持された焼却飛灰で生成する有機塩素と有機臭素
21pr0183	P-189	○柏倉桐子, 佐々木左宇介(自動車研)	自動車から排出されるニトロ・ジニトロフェノールの測定検討
21pr0191	P-190	○津江広人, 高橋弘樹, 石橋孝一, 井上 梨佳子, 清水 俊, 高橋大輔, 田村 類(京都大院・人間環境)	アザカリックス[4]アレーンの単結晶による高選択的な二酸化炭素の吸蔵
21pr0204	P-191	○櫻井千晶, 天野憂子, 宇田川 彩, 安原昭夫(東京理科大)	超臨界水酸化法による無機系実験廃液中の有機物含有量測定について
21pr0279	P-192	○本多将俊(環境調査研修所)	埼玉県所沢市で採取した大気中浮遊粒子状物質の希土類元素パターン
21pr0325	P-193	○上田祐子, Ahmad Shoiful, 本田克久(愛媛大・農)	鉄資材を用いた POPs の分解
21pr0326	P-194	○Mok Yeongbong(Seoul Nat'l University)	Application of thermosensitive materials to forward osmosis, an eco-friendly desalination.
21pr0328	P-195	○中山大地(Seoul Nat'l University)	Synthesis and characterization of LCST-based draw solutes for efficient forward osmosis
21pr0331	P-196	○中村香耶(金沢大院・医薬保), 山田 丸(労働安全衛生研), 吉田翔太, 亀田貴之, 小林史尚(金沢大院・自然), 松木 篤(金沢大・環日本海研セ), 築城寿長, 檜垣誠吾(ダイワボウノイ), 岩坂泰信(金沢大・FSO), 早川和一(金沢大院・医薬保)	フタロシアニン担持繊維による多環芳香族炭化水素類吸着効果及び抗菌効果
21pr0347	P-197	○渡辺信久(大阪工大), 水口弘務(大阪工大院・環境), 今村 豪(大阪工大・環境工)	最高使用温度 1600℃、雰囲気制御が可能な電気炉および電源装置の作成
21pr0353	P-198	○川畑義広(大阪工大院・環境), 渡辺信久(大阪工大・環境工)	1,2,3,4 - テトラクロロベンゼンとデカブプロモジフェニルエーテルの熱化学的破壊
21pr0354	P-199	崔 謹亨(韓国国立農業科学院), ○殷 熙洙(農環研), 洪 秀明(韓国国立農業科学院), 馬場浩司(農環研), 權 五慶, 崔 達洵(韓国国立農業科学院)	農耕地土壌中のエンドスルファン除去のための吸着剤の検討
21pr0359	P-200	○養毛 康太郎, 大塚直寿, 野尻喜好, 茂木 守, 堀井勇一(埼玉県環科国際セ)	学校に設置されている小型焼却炉内の残留灰中のダイオキシン類
21pr0383	P-201	○岸 智裕, 出口雄也, 長岡寛明(長崎国際大・薬), 武田 健, 小野寺 祐夫(東京理科大・薬)	共存有機物による焼却過程でのダイオキシン類生成反応の抑制
毒性・生態・環境影響評価とバイオアッセイ			
21pr0015	P-202	○半野勝正(千葉環境セ), 尾田正二(東京大院), 中野 武(大阪大院), 吉澤 正(千葉環境セ), 三谷啓志(東京大院)	メダカ初期胚を用いたクロロピリホス及び 3,5,6-トリクロロ-2-ピリジノール(2,3,7,8-T4CDD ピリジン類似体の前駆物質)の熱分解生成物の生物影響評価
21pr0040	P-203	○杉田 創, 駒井 武, 井本 由香利(産総研)	発光バクテリアを用いた土壌汚染評価手法の開発ー重金属類(Pb, Cd, Hg, Se)の毒性評価ー
21pr0081	P-204	○谷 祐太, 大保 愛, 阿南 弥寿美, 小椋康光(昭薬大・薬)	セレン化合物を投与したウズラにおける体内分布と排泄
21pr0120	P-205	○沢辺昭義, 向井涉子, 笹井勝章, 澤本拓真(近畿大・農), 中島大介, 白石 不二雄(国環研), 竹田竜嗣, 飯田 彰(近畿大・農)	酵母 Two-Hybrid Assay 法を用いた植物由来環境ホルモン様物質の探索(2)

21pr0166	P-206	○三崎 健太郎(愛媛大・沿環研セ, 京都大・流域圏セ), 鈴木 剛(国環研), Nguyen Minh Tue(愛媛大・沿環研セ), 染矢雅之(愛媛大・沿環研セ, 国環研), 滝上英孝(国環研), 田嶋 木綿子, 山田 格(国立科博), 天野雅男(長崎大・水産), 磯部友彦, 高橋 真, 田辺信介(愛媛大・沿環研セ)	野生高等動物組織抽出物中の抗アンドロゲン活性と寄与物質の毒性同定評価
21pr0170	P-207	○坂井 隼, 篠原亮太(熊本県大院・環共)	ヒメダカ成魚に対する重金属毒性
21pr0177	P-208	○山本宗宏, 角谷秀樹, 秋山恵麻, 中尾晃幸, 太田壮一(撰南大・薬)	幹細胞を用いた環境汚染物質の健康影響評価システムの開発-第1報-
21pr0180	P-209	○太田壮一, 角谷秀樹, 松井寛明, 松本友貴, 増原孝, 秋山恵麻, 中尾晃幸(撰南大・薬)	Dextran透過を指標とした TCDD と B(a)P による生体膜破綻作用
21pr0200	P-210	○池中良徳, 上田春樹, Aksorn Saengtienchai, 石塚真由美(北海道大・獣医)	両棲類の異物代謝機構の特徴と種差
21pr0201	P-211	○池中良徳, 河田みなみ, 渡邊研右, Aksorn Saengtienchai, 大野円実, 石塚 真由美(北海道大・獣医)	鳥類における異物代謝反応: 第I相および第II相反応の特徴と種差
21pr0231	P-212	○古閑 亜理沙, 米村香純(熊本県大院・環境), 内田雅也(エコジェノミクス), 小林 淳, 有菌幸司, 古賀 実(熊本県大・環共)	海産甲殻類アミを用いた 4-ノニルフェノール異性体の生態毒性影響評価
21pr0263	P-213	○櫻井浩壽, 秋山恵麻, 坂本 彩, 亀田和明, 中尾晃幸, 角谷秀樹, 太田壮一(撰南大・薬)	臭素化ビスフェノール A 蓄積性と核内受容体 PPAR 活性との相関性
21pr0264	P-214	○平林祥匡, 秋山恵麻, 見原 圭太郎, 大西航平, 中尾晃幸, 角谷秀樹, 太田壮一(撰南大・薬)	臭素系難燃剤 TBBPA による肝脂質代謝異常に関する検討
21pr0277	P-215	山田建太(富士常葉大), 寺崎正紀(静岡県大・環境研), 村上篤司(富士常葉大), 牧野正和(静岡県大・環境研)	有機リン系及びカーバメート系殺虫剤有効成分から生じるフェノール性分解生成物のヒトエストロゲン受容体作用能評価
21pr0281	P-216	○久保 隆(長崎大), 王 麗莎(中国清華大), 亀屋隆志, 小林 剛(横浜国大), 胡 洪宮(中国清華大), 浦野紘平(横浜国大)	umu 試験による水道水の遺伝子毒性レベルの評価
21pr0298	P-217	○松本幸治, 秋山恵麻, 見原 圭太郎, 長和潤也, 藤澤佳那, 角谷秀樹, 中尾晃幸, 太田壮一(撰南大・薬)	TBBPA の妊娠期・授乳期曝露による仔マウスの生体影響
21pr0304	P-218	○永吉晴奈, 吉田 仁(大阪府公衛研), 川西優喜, 原島 小夜子, 椎崎一宏, 八木孝司(大阪府大・理), 松田知成(京都大院・流環セ), 高木総吉, 安達史恵, 柿本健作, 山口貴弘, 小西良昌(大阪府公衛研)	酵母レポーター遺伝子アッセイを用いた紫外線吸収剤の核内受容体リガンド活性の評価
21pr0318	P-219	○工藤 久美子, 篠原亮太(熊本県大院・環共)	重金属類がヒメダカ(Oryzias latipes)の胚に及ぼす影響と水質の関係
21pr0351	P-220	○齋藤啓太, 池田実希, 林 裕貴子, 片岡洋行(就実大・薬)	薬物代謝酵素活性に対する食品汚染成分の影響
21pr0415	P-221	○伊達安基(電中研, 東北大), 佐々木 和裕, 青田新, 大村直也(電中研)	マイクロイムノアッセイを用いた簡易水銀分析法
21pr0041	P-222	○天野憂子, 安原昭夫(東京理科大), 西川雅高(国環研)	大都市の雨水が高層建築物に与える影響
21pr0060	P-223	○西川雅高, 肥後桂子(国環研)	研究学園都市「つくば」における大気成分の長期変動から

21pr0097	P-224	○熊坂美前, 関根嘉香, 相馬 亮(東海大・理)	環境測定演習において見出された高濃度NO _x 汚染の事例
21pr0179	P-225	○松本文雄(岩手県環保研セ), 齊藤 貢, 大塚尚寛(岩手大・工)	大気中オゾンによる健康影響リスクの推定
21pr0187	P-226	○山中 悟(愛媛多様性センター), 山本貴仁, 相原博行, 小川次郎, 高村裕二, 丹下一彦, 西原博之, 前田洋一, 松田久司, 宮岡速実, 今川義康(愛媛自然環境調査会)	東温市上林の里山における環境省モニタリングサイト1000 里地調査報告
21pr0192	P-227	○畑中満政, 好岡 江里子(愛媛多様性センター), 中村洋祐(愛媛県衛環研), 徳山嵩彦(愛媛多様性センター), 松田久司(かわうそ復活プロジェクト), 今川義康(愛媛自然環境調査会), 高村裕二(愛媛とべ動物園), 岡山健仁(面河山岳博物館)	愛媛県における特定希少野生動植物ナゴヤダルマガエルの生息調査
21pr0240	P-228	○好岡 江里子, 畑中満政(愛媛多様性センター), 篠崎由紀(愛媛県衛環研)	生物多様性保全をめざした水田内環境整備

注) 諸事情によりプログラムが変更される場合があります。

ランチョンセミナーのお知らせ

下記の日程で、昼食時に 60 分程度、参画企業主催のランチョンセミナーを開催いたします。セミナー参加者には、昼食(弁当と飲み物)を各企業が配布する整理券と交換で提供いたします。主催企業による役立つ情報の提供や、新製品の紹介等を行うもので、本セミナーは、皆様の研究や仕事を進めていく上で、有益かつ最新の情報を得る絶好の機会と思われまふ。奮ってご参加ください。
主催企業スタッフ一同、お待ちしております。

※会場等の最新情報は、学会ホームページに随時掲載いたします。

日 時 : 7月11日(水) 11:45 ~13:00

会 場 : B会場(サブホール)、C会場(第6会議室)、D会場(第8会議室)

実施企業 : 大塚製薬株式会社 B会場(サブホール)

株式会社島津製作所 C会場(第6会議室)

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社 D会場(第8会議室)

日 時 : 7月12日(木) 12:00 ~ 13:15

会 場 : B会場(サブホール)、C会場(第6会議室)、D会場(第8会議室)

実施企業: 株式会社ウェリントンラボラトリーズジャパン B会場(サブホール)

ジーエルサイエンス株式会社 C会場(第6会議室)

株式会社エービー・サイエックス D会場(第8会議室)

【講義内容】

大塚製薬株式会社

タイトル: 新製品『PAH: 多環芳香族炭化水素』のご紹介

講師(敬称略): 静岡県立大学 環境科学研究所 三宅 祐一

埼玉県環境科学国際センター 堀井 勇一

「新しいモノを開発し誰よりも先に市場に出すこと=First in Class」を本質ととらえ、これまでCIL/大塚製薬株式会社は歩んできました。この成果として、PAH 定量分析用の標準物質を新しく開発しましたので紹介します。

【次世代 POPs: ハロゲン化多環芳香族炭化水素類の最新研究動向】

近年、多環芳香族炭化水素類(PAHs)に塩素や臭素が置換したハロゲン化 PAHs が、廃棄物焼却施設から高濃度で排出されていることが報告され、環境中にも残留していることが報告されています。また、PAHs と同等以上に有害性を有し、PAHs にハロゲン原子が置換することで環境残留性が増すことが報告されていることから、次世代 POPs となり得る化学物質群です。本セミナーでは、最新の研究結果を交えて、ハロゲン化 PAHs の研究動向・研究課題を紹介します。

株式会社島津製作所

タイトル：LC/MSとGC/MS 最新技術を使用した環境分析アプリケーションの紹介

質量分析計は環境分析に必須であり、環境汚染の研究からルーティン分析まで幅広く用いられています。弊社は、従来のシングルのGC-MSに加え、このたびGC-MS/MSを、また、より高感度なLC-MS/MSを発売しました。本セミナーでは、新製品GCMS-TQ8030、LCMS-8040の紹介と、最新の前処理装置を用いた環境分析でのソリューションを提案します。

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

タイトル：比類なき進化を遂げたiCAP Q ICP-MSの紹介と環境分析への応用例

サーモフィッシャーの新製品iCAP Qは、幅75cmの本体に、最高の分析性能と生産性、シンプルな操作性を備えた革新的な四重極ICP-MSです。独自のイオンフォーカスシステムによりクラス最高のS/N比を達成し、低質量イオンを排除するflatpoleテクノロジーを用いたQCell(コリジョンリアクションセル)は、干渉を効率的に除去して信頼性の高い結果が得られます。また、新開発のコーンは試料マトリックスへの耐性が高く、連続分析の安定性が飛躍的に向上しました。その結果、ほとんどの環境試料において、試料マトリックス成分によらず、ヘリウムコリジョンKEDの単一条件で全元素の高感度一斉分析を実現します。装置の設定はワンクリックで完了し、性能が保証された分析を開始できます。さらに日常メンテナンスは座ったままで迅速かつ簡単にでき、装置の稼働率を向上しました。セミナーでは、高マトリックスの環境試料の分析例や、イオンクロマトを接続した元素の形態分析例をご紹介します。

株式会社ウェリントラボラトリーズジャパン

タイトル：「環境規制による動的变化を考慮した臭素系難燃剤HBCDの環境排出予測」

講師（敬称略）横浜国立大学 真名垣 聡

臭素系難燃剤HBCDは国内外でその使用に関する規制が検討されており、同時に環境排出量の削減の取り組みや、代替難燃剤の開発・移行も進められている。従って、HBCDを取り巻く社会的状況は今後数年で大きく変わることは確実で、結果として環境におけるHBCDの動態も変化することが予想される。したがって、社会におけるHBCDの使用や管理の変化を考慮しつつ、環境中に放出された後の挙動を理解することは環境化学の重要な課題といえる。

我々は、規制にともなうHBCDの使われ方の変化を予測し、その変化が環境挙動に与える影響を調査している。報告では、HBCDの分解産物(PBCD)の測定や異性体組成に関する研究結果を述べるとともに、HBCDの代替難燃剤への移行を考慮した環境排出量の将来予測について、サブスタンスフロー解析、代替リスク比較といった環境化学とは異なる手法で解析した結果を併せて報告する。

タイトル：「臭素系難燃剤HBCD異性体の高分離分析、UPLC-ToFMSを用いたOH-PCB高分解能定量」

講師（敬称略）日本ウォーターズ株式会社 佐藤 信武

HBCD は RoHS 指令で規制対象の追加物質の候補として挙がっており、日本でも経済産業省により有害性調査が行われています。HBCDは臭素の配置位置により多数の異性体があり、有害性が異なることが懸念されています。これら異性体を分離定量する技術についてご紹介します。また、PCB の代謝物である OH-PCB の異性体、同族体を誘導体化せずに高分離条件にて高分解能 MS で定量する技術も合わせてご紹介します。

ジーエルサイエンス株式会社

タイトル：環境分析の前処理製品とアプリケーション一挙紹介

今や有機分析のみならず重金属分析においても注目されている固相抽出法について、環境水中規制強化重金属の効率的な測定に関するポイントをご紹介します。また、水道法水質検査法の一部改定により、さらに高感度分析が必要とされるページ・トラップ法や、大気分析に関連する製品など、あらゆるサンプルの前処理製品について、ジーエルサイエンスが提供する最新の機器とアプリケーションをご紹介します。

- キレート樹脂固相、放射性核種用固相の紹介
- 固相抽出カラムの上手な選択
- ページ・トラップ装置によるデータの信頼性向上！
- キャニスター濃縮導入装置と新型サンプリングバッグのご紹介

株式会社エービー・サイエックス

タイトル：LC/MS/MSを用いた環境分析の新しいスタイル

LC/MS/MSを用いた効率的な環境分析において、感度とスループットは非常に重要なファクターとなります。近年用いられるようになってきたUHPLCをMSのフロントに用いた分析では、高流速の移動相条件を適用することによって、スループットを高めることができますが、イオン取り込み効率の低下や、高流速による環境負荷への影響など、必ずしも環境分析に適しているとは言えないのが現状です。本セミナーでは、LC/MS/MSのフロントLCとして最適な新製品 Eksigent expert LCシリーズと新開発のハイブリッドエレクトロードを組み合わせた、マイクロフローによる新しい環境分析のスタイルをご紹介します。このシステムを用いることにより、少ない投資でハイスループット化と10倍以上の高感度化の両立が実現できました。また新製品QTRAP®4500 LC/MS/MSシステムとTripleTOF™4600 LC/MS/MSシステムを用いた環境分析への応用例も合わせてご紹介します。